オーケストラ・コンサート情報満載！

33 ORCHESTRAS

日本オーケストラ連盟ニュース

2015
Vol.89
4月～7月



特集

2013年度 定期演奏会
演奏回数ランキング



加盟オーケストラのコンサート　2015. 4 ››› 7

Concerts throughout Japan

CONTENTS

2013年度 定期演奏会 演奏回数ランキング …… 2
シンポジウム
“世界における我が国オーケストラのポジション”…… 5
国際交流基金「ASEANオーケストラ支援事業」
～バンコクからの便り～ その1 …… 6
東日本大震災支援 …… 7
News&Topics …… 8
リレーエッセイ㉓ …… 9
Concerts throughout Japan …… 10
インフォメーション …… 20

2013年度 定期演奏会
演奏回数ランキング

1年間の定期公演（正会員）の「演奏回数ランキング」発表は、2009年度の第1回から数え、今回で5回目になります。そこで、今回は、併せてこれまでの5回の結果を整理（2013年度のベスト10が過去何位であったか分ります）し、オーケストラ活動の流れを音楽評論家の奥田佳道氏にまとめていただきました。なお、本データは、2014年版「オーケストラ年鑑」のデータをもとに作成しています。詳細は本連盟のホームページ（http//www.orchestra.or.jp）に掲載しています。

作曲家ランキング

2013年度			2012年度		2011年度		2010年度		2009年度	
順	回数	作曲家	順	回数	順	回数	順	回数	順	回数
1	84	ベートーヴェン	1	74	1	91	1	107	1	84
2	60	ワーグナー	13	24	11	27	25	12	17	19
3	56	ブラームス	3	57	4	55	3	56	5	45
4	52	モーツァルト	5	53	2	69	2	73	2	82
5	44	ドヴォルザーク	8	36	9	38	5	47	15	21
5	44	ヴェルディ					23	13	19	15
6	35	シベリウス	9	33	10	37	12	24	14	22
7	30	ラヴェル	7	37	14	24	12	24	8	34
8	27	チャイコフスキー	2	64	7	45	6	42	4	46
8	27	ブルックナー	11	28	12	26	9	30	9	28
8	27	ラフマニノフ	14	23	15	22	26	11	12	24
9	25	R. シュトラウス	10	32	8	40	10	27	3	55
10	23	マーラー	6	51	3	61	4	50	16	20
		プロコフィエフ	4	55	5	53	11	25	10	26
		ショスタコーヴィチ			6	45	7	36	7	37
		シューベルト			12	26	47	6	18	16
		シューマン					8	31	8	34
		ストラヴィンスキー							5	45
		ハイドン							6	44
		メンデルスゾーン							7	37

自主公演作曲家ランキング

順	回数	作曲家
1	219	モーツァルト
2	201	ベートーヴェン
3	187	チャイコフスキー
4	168	シュトラウス一家
5	119	ドヴォルザーク
6	97	ブラームス
7	63	アンダソン
8	57	ラヴェル
9	53	ヴェルディ
10	52	ビゼー
11	46	サン・サーンス
11	46	メンデルスゾーン
11	46	ハイドン
12	44	グリーグ
13	41	シベリウス
14	39	ロッシーニ
14	39	ワーグナー
15	37	オッフェンバック
16	32	シューベルト

＊ただし鑑賞教室は除く

自主公演邦人作曲家（参考）

順	回数	作曲家
1	95	久石譲
2	79	すぎやまこういち

2013年のランキングをよむ

文：奥田佳道

作曲家ランキング

第1位記録を更新中のベートーヴェンに迫ろうかという19世紀ドイツ・オペラの旗手リヒャルト・ワーグナーと、チャイコフスキーの得票数を上回ったイタリア・オペラの偉人ジュゼッペ・ヴェルディの台頭に驚く。いずれもベストテン圏外からの登場だ。

とくにワーグナーは、上位常連のブラームス、モーツァルトを押しのけての堂々第2位入賞。ヴェルディも、チェロ協奏曲や交響曲第8番を擁するドヴォルザークと同票を得る、突然のブレイクぶり。

両者の飛躍的な伸びには、もちろん明確な理由がある。2013年が生誕200年のアニヴァーサリー・イヤーで、いずれの作曲家も例年以上に取り上げられたからである。よく知られた音楽ばかりでなく、ライヴでは日頃お目にかからない秘曲もあった。19世紀オペラ界の両巨頭がともに1813年生れ、2013年がセレブレーションの年とは、芸術の女神ミューズも粋な采配をしたものである。

言わずと知れたオペラハウスの華であるワーグナーにヴェルディの音楽だが、オーケストラ・コンサートでは、どうしたって「小品」、つまり管弦楽曲やアリアの演奏が多くなるので、曲数もどんどん増えてゆく。マネジメントを含む国内外のオペラ団体、オーケストラが一年を通じ「2013ヴェルディ＆ワーグナー生誕200年祭」というキーワードを掲げ、イヴェントや公演を行なった年でもあった。

ワーグナーに関しては以前からの人気曲、たとえば、開演やアンコールに相応しい「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲や、プログラム前半を彩る親和的な「ジークフリート牧歌」ばかりでなく、気宇壮大な4部作「ニーベルングの指環」の調べが繰り返し演奏されたことも大きい。優れた歌手を3名揃える必要があるとは言え(逆に言えば3名で事足り)、オーケストラも主役を演じる楽劇「ワルキューレ」第1幕への関心はとても高かった。ヴェルディも、ただ序曲や前奏曲が演奏された、あるいは名アリアが歌われたばかりでなく、歌劇「シモン・ボッカネグラ」の演奏会形式上演という記念年ならでは定期公演があった。合唱の名曲や人気のレクイエムも、いつも以上にプログラミングされた。

いっぽう、近年安定した人気を誇っているのが北欧フィンランドのシベリウス、それにラヴェルである。もし昭和の時代にランキン

曲目回数ランキング

2013年度				2012年度		2011年度		2010年度		2009年度	
順	回数	作曲家	曲目	順	回数	順	回数	順	回数	順	回数
1	8	ブラームス	交響曲第１番ハ短調	2	10	4	8	4	10	3	7
1	8	ブラームス	交響曲第３番ヘ長調								
1	8	ベートーヴェン	交響曲第７番イ長調	10	6			11	2	2	8
1	8	ドヴォルザーク	交響曲第８番ト長調							6	4
1	8	ブラームス	交響曲第４番ホ短調	21	5				5	2	8
2	7	シベリウス	ヴァイオリン協奏曲ニ短調	10	6	1	13	39		6	4
2	7	ベートーヴェン	ヴァイオリン協奏曲ニ長調					23	16	6	4
2	7	ドヴォルザーク	チェロ協奏曲ロ短調	21	5			1	14		
2	7	ブラームス	交響曲第２番ニ長調	1	12			15	7	4	6
2	7	ブルックナー	交響曲第４番変ホ長調「ロマンティック」					39	5		
2	7	マーラー	交響曲第６番イ短調「悲劇的」					39	5		
2	7	チャイコフスキー	交響曲第４番ヘ短調	4	8			23	6		
		ベートーヴェン	ピアノ協奏曲第５番変ホ長調「皇帝」	2	10	15	6	39	5		
		チャイコフスキー	交響曲第５番ホ短調	5	7	4	8				
		シューマン	ピアノ協奏曲イ短調	5	7			39	5	3	7
		シューベルト	交響曲第７番ロ短調「未完成」	5	7						
		マーラー	交響曲第５番嬰ハ短調	5	7	11	7				
		ブラームス	ヴァイオリン協奏曲ニ長調	5	7	15	6				
		R. シュトラウス	組曲「ばらの騎士」			2	9				
		ショスタコーヴィチ	ヴァイオリン協奏曲　第１番			2	9				
		チャイコフスキー	ピアノ協奏曲第１番変ロ短調			4	8				
		チャイコフスキー	交響曲第６番ロ短調「悲愴」			4	8	6	9		
		ドヴォルザーク	交響曲第９番ホ短調「新世界から」	10	6	4	8	23	6		
		ベートーヴェン	交響曲第３番変ホ長調「英雄」	10	6	4	8	11	8	4	6
		ベートーヴェン	交響曲第６番ヘ長調「田園」			4	8	15	7	6	4
		ラヴェル	ラ・ヴァルス	21	5	4	8				
		ベートーヴェン	交響曲第８番ヘ長調					1	14		
		ショパン	ピアノ協奏曲第１番ホ短調					3	12		
		マーラー	交響曲第１番ニ長調「巨人」					4	10	5	5
		バルトーク	管弦楽のための協奏曲					6	9		
		プロコフィエフ	交響曲第５番変ロ長調					6	9		6
		ベートーヴェン	序曲「コリオラン」					6	9	4	6
		ラヴェル	ピアノ協奏曲ト長調					6	9	3	7
		ラフマニノフ	ピアノ協奏曲第２番ハ短調	10	6					1	10
		R. シュトラウス	アルプス交響曲							2	8
		エルガー	交響曲第２番変ホ長調							3	7
		ブルックナー	交響曲第５番変ロ長調							3	7
		ベートーヴェン	交響曲第５番ハ短調「運命」	21	5					3	7
		ベートーヴェン	交響曲第４番変ロ長調							3	7
		モーツァルト	交響曲第 39 番変ホ長調							3	7
		モーツァルト	ヴァイオリン協奏曲第３番ト長調							3	7
		ラヴェル	スペイン狂詩曲							3	7

グがあれば、シベリウスは「フィンランディア」と交響曲第２番、フランス近代のラヴェルはひとえに「ボレロ」ゆえに得票数を稼ぐ、という傾向があっただろうが、今は違う。

シベリウスもラヴェルも、実はそれらの名曲を少しも頼りにしていない。シベリウスには「ヴァイオリン協奏曲」という、ほんとうに愛すべきアイテムがあり、票の伸びに大きく貢献しているのは事実だが、同時に、第２番以外の交響曲や幻想的な交響詩の存在感が高まっていることを忘れてはいけない。少し前まで録音はともかく、ライヴではなかなか体感出来なかったそれらの作品が演奏されるようになってきたのだ。もちろん、シベリウスの音楽に想いを寄せる指揮者が私たちの身近にいるからである。シベリウスは2015年が生誕150周年だが、２年前から記念年へ向けてのプロジェクトが始まったとも言える。ラヴェル演奏の多様化も頼もしい傾向だ。

2013年、ヴェルディとワーグナーの躍進で割を食った形になったのが、チャイコフスキーだが、心配はいらない。ブラームスの交響曲同様、チャイコフスキーの交響曲やバレエ音楽は、定期公演のほか、午後のマチネーコンサートや、近年人気の1時間プログラムの公演の主役に成りうる。得票の増減に一喜一憂する必要はない。後期の交響曲第４番、第５番の演奏回数を見よ。

世紀転換期を彩ったグスタフ・マーラー（1860 ～ 1911）の低落傾向がいくぶん気になるが、これは2010年に生誕150周年、2011年に没後100年という記念年を経験したことの反動だろう。マーラーはひと頃よりも演奏回数が減ったとは言え、オーケストラ・コンサートの雄であり、実際、指揮者の就任披露や、オーケストラのここぞという場面ではよく演奏されている。実際、2015年はシリーズ演奏も含め、マーラーを聴く機会がとても多い。やはりかろうじてベストテンを保っているリヒャルト・シュトラウス（1864 ～ 1949）は、生誕150周年の2014年の結果を待とう。

熱心な聴き手に支えられるいっぽう、苦手とする層も多いブルックナー（1824 ～ 1896）は、急激に上昇することも下落することもなく、ベストテンを保っている。指揮者パーヴォ・ヤルヴィが、ドイツ・ヘッセン放送協会でのヒラリー・ハーン（ヴァイオリニスト）とのミニ対談で「日本でブルックナーの交響曲を演奏すると、男性のお客様ばかり」と語り、驚いたヒラリー嬢は「ブルックナーは日本人のために曲を書いたのかしら」と、笑いを誘っていた。

大河のような音楽を紡いだラフマニノフの人気を支えているのは、ピアノ協奏曲と交響曲のそれぞれ第２番、ピアノ協奏曲第３番である。上記の曲目回数ランキングにはぎりぎりのところで出てこないが、長篇交響曲第２番への関心は、実は高い。

曲目ランキング

作曲家ランキングから曲目ランキングに話題を移せば、これはもうブラームスの圧勝。シリーズ演奏にも定期公演のメインにも、そして1時間公演にも適したブラームスの交響曲全4曲。いっぽう、ベートーヴェンの交響曲第7番は殿堂入りして久しい。ブルックナーは「ロマンティック」、マーラーは「悲劇的」が強かった。

圏外だが、昨今の動きとして目につくのは、シェーンベルクがオーケストラ編曲したブラームスのピアノ四重奏曲と、多くの若いヴァイオリニストが弾くようになったコルンゴルトのヴァイオリン協奏曲、それにイギリスのエルガー、ウォルトンの各交響曲第2番だろうか。それぞれ第1番は有名だ。大作曲家の秘曲としては、ドヴォルザークの交響曲第6番「以下」のシンフォニーも演奏されるようになってきた。

自主公演の作曲家ランキングも定期公演のそれと概ね呼応するのだが、時空を超えた4人の作曲家が名を連ねる。ニューイヤー・コンサートの定番ヨハン・シュトラウス・ファミリーと、サマー・コンサートやオーケストラ・ポップスの花形でもあるルロイ・アンダソン。それに久石譲と、すぎやまこういち。2人の日本人作曲家は自作を指揮して人気だ。

5年間のランキングをよむ

2009年作曲家 ベスト5

1 ベートーヴェン　84回
2 モーツァルト　82回
3 リヒャルト・シュトラウス　55回
4 チャイコフスキー　46回
5 ストラヴィンスキー　45回
5 ブラームス　45回

2010年 ベスト5

1 ベートーヴェン　107回
2 モーツァルト　73回
3 ブラームス　56回
4 マーラー　50回
5 ドヴォルザーク　47回

2011年 ベスト5

1 ベートーヴェン　91回
2 モーツァルト　69回
3 マーラー　61回
4 ブラームス　55回
5 プロコフィエフ　53回

2012年 ベスト5

1 ベートーヴェン　74回
2 チャイコフスキー　64回
3 ブラームス　57回
4 プロコフィエフ　55回
5 モーツァルト　53回

2013年 ベスト5

1 ベートーヴェン　84曲
2 ワーグナー　60曲
3 ブラームス　56曲
4 モーツァルト　52曲
5 ドヴォルザーク　44曲
5 ヴェルディ　44曲

作曲家の生誕、没後の記念年に演奏回数は増える。

2013年に生誕200年を祝ったワーグナー、ヴェルディの躍進を挙げるまでもなく、アニヴァーサリーやメモリアルイヤーを迎えた作曲家は強い。

2009年に、常連のチャイコフスキーやブラームスを抑えて第3位となったのは、同年が没後60年のリヒャルト・シュトラウスだった。気宇壮大な交響詩各種、交響曲2種、それに4つの最後の歌、あるいはホルン協奏曲第1番、「ばらの騎士」組曲、〈サロメの踊り〉で人気のR. シュトラウスは、常に上位を伺う存在だが、第3位になったのは2009年だけである。もっとも同年、東京、名古屋、大阪のオーケストラ（しかも同一プログラムの公演を二日行なう団体）があたかも競うかのごとく「アルプス交響曲」を披露したことも大きいのだけれど。生誕150周年の2014年の結果が待たれるところだ。

リヒャルト・シュトラウスと同世代のグスタフ・マーラーも、生誕150周年の2010年に50回の演奏で第4位、没後100年の2011年に61回で第3位になっている。声高に申すまでもなくマーラーもオーケストラ芸術の華だが、ベスト5に入ったのは両年だけである。2009年が演奏回数20回だったから、翌年2.5倍、翌々年は3倍で、記念年成果は明らか。

ちなみに2009年にもっとも演奏されたのは、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番で、次のグループには前述の「アルプス交響曲」とベートーヴェンの交響曲第7番、ブラームスの交響曲第4番が来るのだが、ラフマニノフとベートーヴェンは、その3年ほど前にブームを巻き起こした「のだめカンタービレ」と結構な関係がありそう。2、3年の「ずれ」は、企画から実施されるまでの時間と考えてよい。

2009年以降、曲目回数ランキングのベスト5から一度も漏れたことがないのがブラームスの交響曲第1番で、2013年には、交響曲第3番、第4番とともに年間ベストに輝いた。交響曲第2番も1回少ないだけだから、ブラームスの強さがよく分かる。ベートーヴェンの全交響曲同様、指揮者の芸術観並びにオーケストラのあり方を問うのがブラームスの4曲で、オーケストラにとっては基本の人員で演奏出来るのもありがたいはず。19世紀ロマン派の息吹を感じさせる、佳き時代を受け継ぐブラームスも、新ウィーン楽派のシェーンベルクが愛した進歩主義者としてのブラームス演奏も素晴らしい。

2013年は少なかったが、2011年に第5位、2012年に第4位と演奏回数を増やしたのが機智に富んだプロコフィエフで、古典交響曲や交響曲第5番ばかりでなく、近年は2種類のエンディングをもつ交響曲第7番への関心も高い。もちろん人気のピアノ協奏曲第3番、第2番、ヴァイオリン協奏曲第1番、第2番やバレエ「ロメオとジュリエット」あってこそのプロコフィエフだ。年によって波はあるが、やはり激動の20世紀「ソ連」を生き抜いたショスタコーヴィチのオーケストラ曲に喝采が贈られるようになって久しい。かねてから人気の交響曲第5番ばかりでなく、交響曲第1番や、いわゆる戦争三部作、歴史を扱った問題作、それに最後の交響曲第15番も演奏されるようになったが、近年の人気はオイストラフのために書かれたヴァイオリン協奏曲第1番と、トランペットも活躍するピアノ協奏曲第1番、それに交響曲第10番だろうか。

これら20世紀の「ソ連」組、北欧のシベリウス、体制の異なるドイツを生き抜いたリヒャルト・シュトラウス、近代フランスのラヴェル、晩年はアメリカに活路を求めたラフマニノフ、時代をさかのぼってブルックナーやイギリスのエルガー、チェコのドヴォルザーク、ロシアのチャイコフスキーが毎年一定の人気を博すいっぽう、上位に顔を出さなくなってしまった作曲家もいる。正確には、かつてはそれなりに演奏されたのに、この頃は地味に映る作曲家だ。

たとえば2009年は演奏回数44回の第6位で、ブラームスよりも一回少ないだけだったハイドン。ウィーン古典派の様式美を創り上げたハイドンを愛してやまない指揮者はいるのだが、ハイドンはスペシャリストや、歴史的情報に基づく演奏法（HIP）を得意とする室内または中規模サイズのオーケストラの領域となりつつある。1980年代までシンフォニー・オーケストラによって普通に演奏されたバッハの音楽が、昨今、スペシャリストの手に委ねられているように。

ドイツ・ロマン派の化身シューマンや、そのシューマンによって19世紀のモーツァルトと讃えられたメンデルスゾーンの交響曲や劇音楽の演奏が増えることを願って稿を結ぶ。



シンポジウム “世界における我が国オーケストラのポジション”

日時：2014年12月9日(火)18時
場所：東京国際フォーラムG510会議室
主催：文化庁・公益社団法人 日本オーケストラ連盟

江戸から明治の時代となり、本格的に西洋の音楽が導入されてから約150年を迎える。この中で器楽合奏の形で中心となってきたのがオーケストラである。最も古い創立とされる東京フィルハーモニー交響楽団は既に100年を超えている。その後NHK交響楽団の前身である新交響楽団が設立され、現在では日本オーケストラ連盟には33のプロフェッショナル・オーケストラが所属するまでにいたっている。その間、多くの外国人指揮者、演奏家、教育者が来日し、また多くの志を持った日本人が留学を果たし欧米での経験を持ち帰り、今日までオーケストラの能力は著しく向上し、世界水準の中にあっても遜色の無いところまでいたっていると言われている。しかしながら、欧米から遠く離れていることもあり、まだ世界での演奏機会は必ずしも多くなく、その実力が欧米において正しく評価されているとは言えない。はたして実際はどうなのか。そのような中、今回欧米の有力なメディアで活躍する評論家が来日し、日本のオーケストラを鑑賞・評価するという試みがなされた。

この事業は今年度より始まった国の「戦略的芸術文化創造推進事業」の一環として行われた。シンポジウムは今回の目的である6つのオーケストラの鑑賞のうち4つ(読響・日本フィル・N響・都響)が終わった12月9日(火)に開催された。評論家はアントワーヌ・ペクール氏(仏：クラシカ)、エレオノーレ・ビュニング氏(独：フランクフルト・アルゲマイネ)、アンドリュー・クレメンツ氏(英:ガーディアン)、マーク・スウェッド氏(米：ロサンジェルス・タイムズ)の4名に日本からは東条碩夫氏が加わった。司会は日本オーケストラ連盟参与の加納民夫が務めた。(注：M・スウェッド氏は来日が遅く、都響のみ聞いた段階での参加)

ペクール氏は日本のオーケストラの特徴を「実に高度な技術を持っている一方、オーケストラに必要不可欠である活気に乏しい」と印象を述べた。改善策としては、「楽団員たちがより自主的になる必要がある。そのために若い、開放的な指揮者を呼ぶことも一つの方法」などの意見を述べた。また、プログラム、聴衆の高齢化については「19世紀の音楽中心でなく、古楽から現代まで万遍なく演奏していくことをすすめたい。聴衆の高齢化は世界的な問題であり、舞台上に活気が必要。オーケストラを構成している素晴らしい個性を伝える努力も」と示唆した。

ビュニング女史は「今回初めて日本のオーケストラを聞いた。なぜ今までヨーロッパにおいても日本においても聞かなかったのか。そこには日本と西洋が対等でないこと。輸入と輸出に不均衡があり、これは今後皆で解決しなければならない」と冒頭に述べた。また「オーケストラの良し悪しを一回の演奏会で評価することは難しい」と前置きしたうえで次のような印象を語った。「日本でドイツ・カンマーと都響のリハーサルを聞く機会を得たがドイツ・カンマーはリハーサル中、活発な議論があったが都響では模範的に指揮者の指示していたように演奏していた。日本の音楽家は慎ましく、保守的でフレージングや、ハーモニーの美しさを重要視していて、美が音楽の示す真実より重要視されているのでは」と。またオーケストラの向上には「いかなるオーケストラであっても、音楽家は他の音楽家、近くの人の演奏を聴いて学ぶことが重要である」こと、「作曲家がどのような背景を持って作曲したかについてすべての音楽家が興味を持たなければならない」、「レパートリーはロマン派の音楽にだけ集中してはいけない」こと、などが述べられた。

クレメンツ氏は「日本のオーケストラをヨーロッパ最高のオーケストラと比べることの意味はない。なぜなら遠く及ばないからで、自身の国イギリスでもごく一部を除いてそれらには及ばない」と厳しい発言から始まった。また「指揮者の要素が重要で一回の演奏会で評価することは難しい」と述べたうえで、「N響はロンドンの主要なオーケストラに匹敵し、それ以外はイギリスの地方の主要オーケストラに匹敵する」と発言した。N響のドビュッシーの「ペレアスとメリザンド」、都響のバルトークの「弦楽器とチェレスタのための音楽」を高く評価した。今後のオーケストラの向上については、「このオーケストラで仕事をする覚悟のある首席指揮者が必要。名ばかりでなく、時間をかけてオーケストラを訓練する指揮者がいなければ絶対に向上はしない」と強く意見をした。

スウェッド氏は9年前に東京に来た時に比べ、多くのチラシに日本の作曲家の名前を見つけることができたこと、また音楽監督に任命されている、ジョナサン・ノット、大野和士についても評価した。一方、けん引役であるべきN響に「活発な都市である東京において、人々は都市の活況が音楽文化にも反映されることを望んでいるにもかかわらず、今のN響にはそれが見当たらない」と苦言を呈した。「オーケストラが頻繁にツアーをしないのは経済的な理由もあるだろうが、NHKはアジアの重要な放送局であるのだから、N響の演奏が世界で聴くことができる、世界の都市とコミュニケーションをすること」の重要性も述べた。また「クラシック音楽が視覚芸術あるいは現代演劇より、売るのが難しいのは見せ方に問題がある」ことを美術館などとの対比をしながら述べた。「東京は素晴らしい都市です。東京のオーケストラにはその世界を反映すべきだ」と、締めくくった。

日本からは**東条氏**が、今あったような批評を日本ですることの難しさ、必ずそれでよいとは思っていないという日本の評論事情を説明した後、現在の東京のオーケストラのプログラムは必ずしも保守的でないことを具体的な例を挙げて説明した。そのあと、「日本のオーケストラにある“おとなしい”、“なだらか”、“物静か”といった特徴が欠点と考えるのではなく、特徴であると見直したらばどうなるか」という提言をした。最後に「日本のオーケストラが日本のオーケストラなりの演奏スタイルを確立して、それを世界に広げていくのはどうなのか」と述べ、加えて「日本の作曲家の作品がたくさん生まれ、それをレパートリーに加えていくことが実を結ぶのでは」と締めくくった。

後半は前半の話を受け、“国によるサウンド(響き)の違い”、“グローバリゼーションによるサウンドの均質性”、“シモン・ボリバル響の魅力”、“サウンドが論点ではなく、もっと演奏の本質的な部分についての論評が大切”、などパネリストの間で活発な議論がなされた。その中で会場に参加していた**村上満志氏**(仙台フィル・常務理事演奏事業部長)からは「主張しないと生きられない欧米と、間違えない事や誰かが言ったことを受け止めることによって演奏をまとめていく日本。この差を認識したうえで日本のオーケストラが活気を持って、演奏することの喜びを聴衆に伝えることが大切である」という現場からの意見が寄せられた。

限られた時間の中で、もう少し時間があればもっと互いの意見の理解を深められる部分もあったようにも思えるが、総じてきわめて有効な時間であった。今回の外側から見た貴重な意見を真摯に受け止め、日本のオーケストラはさらなる充実を目指したい。多様化する社会の要求の中で、オーケストラに求められるものは多い。その中でオーケストラの音楽的な、また機能的な水準の向上は各種の要求に応えていくに必要不可欠であり、よりいっそうの努力を続けていかなければならない。

さらに今後もこのような機会を持ち、日本のオーケストラの進むべき道の議論を深め、一つ一つ実践していきたい。

国際交流基金
「ASEAN オーケストラ支援事業」

～バンコクからの便り～
その１



庭園野外晩餐会、演奏会前の３名、左から伊藤裕悦さん、金本順子さん、大埜展男さん

昨年11月28日にタイのバンコク交響楽団支援のため、羽田を飛び立った派遣専門家3名はカルチャー・ショックを覚えながらも元気に演奏活動に励んでいます。本号から、バンコクでの生活、演奏活動をリレーエッセイとして伝えていただくことにしました。トップを飾るのは「サワディー カー」こと、ヴァイオリンの金本順子さんです。

2014 年11月28日、不安いっぱいを隠したカラ元気で、羽田を発ちました。出発時の日本がそれほど寒い日ではなかったにしろ冬の気候。飛行機は予定時間より早く順調に到着し、その先は、長袖など着ていられない暑さ、ムワっとした空気が印象的でした。なんの問題もなく迎えの、BSO（バンコク交響楽団）事務局長ワンチャイさんと出会い、タクシーで市内に入ります。写真で見た、高層ビル群が屹立するキリッとした大都会のイメージは何処へやら。もやっと汚れた空気の中に高層ビルと、工事中―なのか壊しかけなのかわからない建物、疲れ果てたような緑が混在する街の景観は、お世辞にも綺麗とは言えず、何となく心が重くなったのを覚えています。

それから1ヶ月は、訳がわからないまま、周りの方々に助けられて、数々の、必要な手続きを手順に従って進めるのに必死でした。通信の確保、家探し、引越し、基金への書類提出、ワークパーミッションの取得、銀行口座の開設……。それらを支える移動が、バンコクの場合簡単ではありません。道路事情が非常に悪く、渋滞にまきこまれると、10分が1時間2時間になっても全然不思議ではない、という状態です。約束の時間が決められると、どうやって行こうか、ああでもないこうでもないと心配する私は、いつも周りに笑われていました。



12月26日 Khaolak（カオラック）インド洋津波10周年記念式典での練習風景
雨の降る蒸し暑さの中、本番時には奇跡的に雨がやみました。（カオラックはプーケット空港から北に1時間ほど行ったパンガー県にある場所）

もう一つ心配だったのが、オーケストラの予定が、日本の感覚からいくと、あまりにも少なすぎることです。一緒に行った3人で情報とツテを出し合い、スケジュールの合間をぬって、できるだけ多くの人に会おう、コンサートを聴いてみよう、と外に出かけて行きました。到着の翌々日には、BSO のパークコンサートがシーズン幕開けということだったので、聞きに出かけました。５時半からというので、早めに行き、今か今かと待ちましたが、実際音が出たのは、ずいぶん過ぎてから。楽しみに聞きにくるお客様の方が、場所取りのため、よほど早く揃っていました。気候がまだ安定しきっておらず、湿っぽい、暑い宵でした。１時間ぐらいのプログラムだろうと思っていたのに、お話も嫌という程長く、ダラダラと２時間もやっていました。かぶりつきに座を占めたお客様は結構楽しんでいたようでしたが、遠くで聞いていた私たちには、こりゃたまらん、と先が思いやられるコンサートでした。

まだ様子が把握できていなくて、頭は混乱しているのに、仕事は容赦なく、着いてから５日目から始まりました。オーケストラの練習場は、タイで一番古い、名門大学の一角を借りたもの。駐車場の屋上にあります。オケメンバーは皆、フランクで親切ないい人たちで、親日家も多く、日本語で話しかけてくれる人もたくさんいます。クラリネットの伊藤さんの提案で、「東京バナナ」を差し入れで持って行ったのですが、皆むしゃむしゃ食べて、美味しかったありがとう、と満面の笑顔で言っていただくと、緊張も解けて、なんとなくうまくやって行けそうな気になりました。



Bang Khun Phrom（バン クン プロム）宮殿、庭園野外晩餐会での練習風景

最初の仕事は、ホールでの、BSO にとっては定期コンサートのようなもの。後でだんだん分かってきたのですが、このオーケストラは、固定団員がいないので、１回ごとに人を探して契約します。定期ともなるとやはり気合が違うようで、メンバーも上手な人が多いです。しかも王様の誕生月のコンサートで、王族臨席ということもあって、選りすぐりのメンバーだったのではないでしょうか。ユベール・スダーンの指揮のもと、パークコンサートと同じオケとは思えない、いい演奏をして、会場を埋めた60 ～ 70% のお客様に、大いに喜んでいただきました。仕事の方は順調にすべり出した私たちのバンコク生活も、全てが順調なわけではなく、一緒に行った、他のおふたりはともかく、詳しくは書きませんが、私はいろいろなことが心配で、それを克服して新しいことに挑戦することに疲れてしまい、すっかり臆病人間になってしまいました。

それでも日は進んで、暦はもう年の暮れ。でも外の気温はまだ30度です。日本のニュースでは、いよいよ今年ももうあと何日……。とか言って人の心をかき乱してくれます！あーっ！

バンコクの街は、12月は王様の誕生月なので、王様をお祝いする飾りつけがとても



元旦にワンチャイ事務局長一家と市内の市場を探索、中央は身振り手振りで必死の筆者、金本さん


練習中の大埜さん


練習中の金本さん

派手で、街のあちこちにかなりのスペースを取って設けられています。その次がクリスマス、時が進むと、更にハッピーニューイヤーの飾り付けが加わって、それなりに盛り上がっています。そのうち、日本の冬休みが始まって、日本から家族が何人か、バンコクを訪ねて集まってきました。今考えれば、これが私にとって救いでした。観光で来ている人たちに引っ張られて、否応なく名所見物や買い物に出て行き、大晦日には、カウントダウンの花火も屋上から楽しんだりしました。大晦日と1日には、それぞれ宮殿やお寺の初詣をしたのですが、人と車の多さは、日本と同じというか、それ以上かもしれません。見物をした、というより、ただただ人と車の中で、時を過ごした、という印象でしたが、でもこういう経験から少しずつ、私も普通にタイに馴染んでいけたのかもしれません。

少しは落ち着き始めた自覚も出てきた、1月半ば……魔の空白の10日間が始まりました。全く仕事のスケジュールがないのです。外に出る用事が何もないのです。タイの住居は、暑さを避けるために、日差しが入らない方向を向いています。特に私の部屋は、昼も薄暗い向きです。そこにこもっていると、気が狂いそうになります。それまで努めて広げたつもりの知り合いの輪も、なぜかその時期みんな忙しいらしく、全く役に立ちません。仕方なく、時間つぶしにタイ語のクラスに申し込みました。あとは食材の買い物と、工夫してタイ料理のまねごとを始めました。食べ物をいろいろ見たいので、混雑するフードコートを一人でブラブラしたりもしました。情報紙を見て、日本人会の集まりにも行くようになりました。苦しかったけれど、この時期の、暇つぶしの苦肉の策が、私を一回り強くしたでしょうか。

その時期が終わると、今度は急に忙しくなりました。野外コンサートと1月の定期コンサートの練習が重なって、1日に2ユニット入った日が続き、私はそれに加えてタイ語教室が加わったので、頭がいっぱい。それまでのペースとのギャップがあまりにも激しいので、エンジンがかからず、大変でした。そして、このお便りのハイライトがここから始まります。

1月の定期コンサートは、来て初めてのコンサートから1ヶ月半以上ぶりの、ホールでのコンサートでした。間の7回は、中には信じられない悪条件もありながら、みんな屋外コンサートでした。

万全のメンバーと、それなりの意気込みで、練習が始まりました。BSOのメンバーは、アンサンブルの経験に乏しいので、最初の練習は、初見同然の人もいたりして???のことが多いです。でも前回のスダーンのアドヴァイスなどの影響もあり、今回は神経質に準備をした態勢で始まりました。指揮はヨーロッパで活躍するカナダ人の、若手。ソリストは大御所、ツィメルマンでした。その組み合わせがよかったのだと思います。練習の日を重ねる毎にオケの緊張が高揚し、本番は、巨匠ツィメルマンの、音楽性溢れた自由な演奏に、真剣に誠実に応えるオケと、引き入れられて集中して聞き入る聴衆が、ホールで一体となって素晴らしいコンサートになりました。新聞のコンサートレビューにも、最近のものの中で最も記憶に残るコンサートと評されました。そして何よりも嬉しかったのが、演奏した楽員が、こういう場に自分が居られたこと、しかも場を作る立場で参加できたことを幸せ、と感じてくれたこと。聞いていたオケスタッフも、いつも聞きにきてくださるお客様も、口を揃えて、いい演奏の素晴らしさを改めて心から認識してくれたことです。真実良いものは、必ず万人の心をを動かすこと、BSOのメンバーは、そういう心の動きをまっすぐ表現してくれる人たちだと言うこと。タイ生活に慣れるために忘れかけていた、こうした心の高揚を、私も思い直せて、本当にうれしかったです。そしてこういう、内から湧き出た共通の感動体験が、オーケストラをより高い高みに、必然的に育てていくのだと思います。

まだまだ2ヶ月。これからもどんなことが起こるのかは???　いいことばかりとは言えないでしょうが、こんなことが1度あるだけで、また元気に前へ進めます。気張らず、自分らしく自然体で、これからもタイと交わっていきたいと思います。

（サワディー カー）金本順子


ワンチャイ事務局長と筆者、金本さん

東日本大震災支援

統合・閉校する小学校４校の校歌収録が完了

東松島市、石巻市で今年度中に統合・閉校する四つの小学校の校歌を1月19日から26日にかけて収録し、3月に行われる式典で利用していただくことになりました。今回もオーケストレーションは日本作曲家協議会のご協力により実施しました。女声合唱入りの正式なCD製作は4月以降となります。

・1月19日(月)石巻市立門脇小学校　神奈川フィルハーモニー管弦楽団　指揮：清水醍輝
・1月21日(水)東松島市立野蒜小学校　広島交響楽団　指揮：秋山和慶
・1月25日(日)石巻市立石巻小学校　関西フィルハーモニー管弦楽団　指揮：藤岡幸夫
・1月26日(月)東松島市立宮戸小学校　東京都交響楽団　指揮：梅田俊明



神奈川フィル弦楽カルテット

2月23日(月)に神奈川フィルが収録した校歌のCDを携え、門脇小学校と市内のアイトピアホールで読響の井上さん(首席ファゴット奏者)を交え、復興支援コンサートを実施しました。(写真右)

「明日を担う音楽家たち2015」が開催

2月13日（金）東京オペラシティコンサートホールにて「明日を担う音楽家たち2015」が文化庁委託事業「平成26年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の一環として開催された。本事業は国の予算で在外研修を行って来た者たちの成果を発表する場として毎年開催されている。

本年は現在デンマークのオーケストラにトロンボーン奏者として在籍中の玉木優さん、アメリカで活躍中の作曲の挾間美帆さん、ベルギーで更なる研鑽を続ける伊藤あさぎさん、ドイツで弦楽四重奏に取組んでいる杉田恵理さんを迎えて行われた。普段、協奏曲などで聴く機会の少ない独奏楽器による音楽会ではあったが、盛況のなか終演を迎えた。

伴奏は矢崎彦太郎指揮による東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団。演奏曲目は以下の通り。

フルメリ／トロンボーン協奏曲
挾間美帆／ Suite “Space in Senses” より
グラズノフ／アルト・サクソフォーン協奏曲
ウォルトン／ヴィオラ協奏曲

平成27年度文化庁予算案が閣議決定

概算要求では文化庁予算は前年度比17.6%増であったが、閣議決定においては0.2%増にとどまった。文部科学関係の全体予算が前年度比0.3%減の5兆3,378億円の中で、文化庁予算は昨年並みの1,038億円（昨年は1,036億円）を維持した。オーケストラに関係の深い部分は以下の通り。

(1)「トップレベルの舞台芸術事業」は昨年並みの3,152百万円。概算要求時にあった外国人対応のための多言語対応と子育てを行うアーティストのための子育て支援のための予算は見送られた。
(2)「文化芸術による子供の育成事業」は昨年並みの5,112百万円。巡回公演事業は1,850公演程度、芸術家の派遣事業は2400件程度となっている。
(3) 平成26年度から新たに設けられた「戦略的芸術文化創造推進事業」は3,500万円増の401百万円となっている。
(4) 共同制作、ネットワーク構築支援事業を含む「劇場・音楽堂等活性化事業」は昨年並みの3,000百万円。

今春、3つのオーケストラがヨーロッパ演奏旅行を実施！

この春から初夏にかけて、読売日本交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団と京都市交響楽団の3つのオーケストラが相次いでヨーロッパを訪れる。

〈読売日本交響楽団〉

読売日本交響楽団は2003年のヨーロッパ・ツアー以来12年ぶりの海外演奏旅行となる。公演地、内容は以下の通り。

【公演日・会場】
3月2日(月) ベルリン・フィルハーモニーⒶ
3月3日(火) ワルシャワ・フィルハーモニーⒶ
3月5日(木) ケルン・フィルハーモニーⒶ
3月7日(土) ティヴォリ・フレーデンブルグ（ユトレヒト）Ⓑ
3月8日(日) パレ・デ・ボザール（ブリュッセル）Ⓑ

【指揮】シルヴァン・カンブルラン（全公演）
【演奏曲目】
［Aプロ］
武満 徹：鳥は星形の庭に降りる、バルトーク：ヴィオラ協奏曲（独奏／ニルス・メンケマイヤー）、アイヴス：答えのない質問、ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界から」
［Bプロ］
酒井健治：ブルーコンチェルト（読響委嘱作品）
メシアン：トゥーランガリラ交響曲（ピアノ／アンジェラ・ヒューイット、オンド・マルトノ／シンシア・ミラー）

〈関西フィルハーモニー管弦楽団〉

関西フィルは2015年に楽団発足45周年を迎え、今春楽団創設以来初の海外公演に臨む。

【公演日・会場】
5月29日(金) ピエール・ジアナダ財団美術館（マルティーニ・スイス）Ⓐ
5月30日(土) デュッセルドルフ・トーンハレⒷ
6月1日(月) ドニゼッティ劇場（ベルガモ・イタリア）Ⓒ
6月2日(火) ブレシア・グランデ劇場（ブレシア・イタリア）Ⓒ
6月4日(木) ヴュルツブルグ・レジデンツ（ヴュルツブルグ・ドイツ）Ⓑ

【指揮とヴァイリン独奏】
オーギュスタン・デュメイ（全公演）
【演奏曲目】
［Aプロ］
グリンカ：「ルスランとリュドミラ」序曲、ショーソン：詩曲、ラヴェル：ツィガーヌ、ブラームス：交響曲第4番
［Bプロ］
モーツァルト：交響曲第29番、細川俊夫：月夜の蓮 ～モーツァルトへのオマージュ～ ピアノ：児玉 桃（5月30日）、広瀬悦子（6月4日）、ラヴェル：ツィガーヌ、マスネ：タイスの瞑想曲、ブラームス：ハンガリー舞曲 第2番、第5番
［Cプロ］
ショーソン：詩曲、ブラームス：ハンガリー舞曲 第2番、第5番、ラヴェル：ツィガーヌ、ブラームス：交響曲第4番

〈京都市交響楽団〉

京都市交響楽団は平成28年に創立60周年を迎える。これを記念して、その前年の平成27年に、姉妹都市提携50周年を迎えるイタリア・フィレンツェで開催される「フィレンツェの5月音楽祭」を含むヨーロッパ4都市で公演を行う。京都市交響楽団の海外演奏旅行は平成9年以来、18年ぶりとなる。

【公演日・会場】
6月3日(水) プルゼニ市公会堂（プルゼニ・チェコ）Ⓐ
6月5日(金) ケルン・フィルハーモニーⒷ
6月7日(日) コンセルトヘボウ（アムステルダム）Ⓒ
6月9日(火) オペラ・ディ・フィレンツェ（フィレンツェ）Ⓓ

【指揮】広上淳一（全公演）
【演奏曲目】
［Aプロ］
武満 徹：三つの映画音楽、プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番（ヴァイオリン：三浦文彰）、R.シュトラウス：交響詩「ティルオイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」、「ばらの騎士」組曲
［Bプロ］
武満 徹：ノヴェンバー・ステップス（尺八：柿堺 香、琵琶：中村鶴城）、細川俊夫：嘆き（メゾソプラノ：藤村実穂子）、プロコフィエフ：交響曲第5番
［Cプロ］
武満 徹：三つの映画音楽、細川俊夫：嘆き R.シュトラウス：交響詩「ティルオイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」、「ばらの騎士」組曲
［Dプロ］
武満 徹：ノヴェンバー・ステップス（尺八：三橋貴風、琵琶：首藤久美子）、ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番（ピアノ：アンドレア・ルケシーニ）、R.シュトラウス：交響詩「ティルオイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」、「ばらの騎士」組曲

名古屋と大阪でオーケストラの饗宴

名古屋と大阪で複数のオーケストラによる演奏会が開催。一回の演奏会で幾つものオーケストラを聞ける貴重な機会となる。

名古屋では3月14日(土)と15日(日)の2日間にわたり、日本特殊陶業市民会館で3つのプロ・オーケストラ（名古屋フィル、セントラル愛知、中部フィル）と地元の3つの音楽大学(愛知県芸、名古屋芸大、名古屋音大)の学生が共演。一方、大阪では4月12日(水)にフェスティバルホールで4つのプロ・オーケストラがそれぞれのシェフ、藤岡（関西フィル）・飯森（日本センチュリー響）・外山（大阪響）・井上（大阪フィル）を擁し演奏会に臨む。

ミミにいちばん！ミミにいいひ！
3月31日は「オーケストラの日」

●首都圏イベント2015（文京シビック）
3月31日(火)（下欄参照）
●東京シティ・フィル（ティアラこうとう）
3月8日(日) 13：00
指揮：海老原光、宮本文昭、平川範幸
●オーケストラの祭典（日本特殊陶業市民会館フォレスト） 3月14日(土) 14：00 名古屋フィル／3月15日(日) 13：00 セントラル愛知、中部フィル（8頁参照）
●名古屋フィル（名古屋市音楽プラザ）3月20日(金) 18：30 サロンコンサート
●関西フィル（大阪市中央公会堂）3月20日(金) 19:00 指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:内尾文香
●兵庫芸文管（兵庫芸術文化）3月28日(土) 14：00 指揮：岩村力 リコーダー：江崎浩司
●アンサンブル金沢（石川県立音楽堂） 3月29日(日) 14：00 指揮：角田鋼亮
●日本センチュリー（センチュリー・オーケストラハウス）3月29日(日) ①10：30～ ②13：30～ ③15：30～ 指揮：飯森範親 司会：どいかつえ
●京響（京都コンサート）3月29日(日) 14：30 指揮：高関健 ヴァイオリン：滝千春
●大阪響（堺市立東文化）3月31日(火) 14：00 指揮：川本嘉子 司会：山本かずみ
●京都フィル（京都市西文化）3月27日(金) 14：00 ミュージックアドベンチャー
●静岡響（清水文化）3月29日(日) 14：00 指揮：篠崎靖男 ピアノ：清水和音
●中部フィル（小牧市市民） 3月29日(日) 15：00 指揮・お話：福田一雄 バレエ：後藤田恭子バレエスタジオ
●ザ・カレッジ・オペラ管（とよなか男女共同参画推進センター） 3月31日(火) 16：00 歌・司会：北野智子
●テレマン室内（いずみホール）3月31日(火) 指揮：延原武春 ピアノ：鈴木恭子、今井順子、内藤雪子

オーケストラの日 第9回

首都圏イベント2015 Day & Night

2015. 3.31 火 文京シビックホール

12のプロフェッショナル・オーケストラが一堂に！
オーケストラの日祝祭管弦楽団コンサート

18:00開演（終演予定19:45）

指揮者 円光寺 雅彦
ヴァイオリン ヴェロニカ・エーベルレ
曲目
メンデルスゾーン 結婚行進曲
モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第3番
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）組曲「展覧会の絵」

Day
12時からは無料イベントで
オーケストラに多角的に触れて下さい。
「オーケストラ広場」や「楽器体験」、
「バックステージツアー」、「室内楽演奏」など

Night
コンサート終演後の余韻を大切に。

チケット ￥3,000 ￥5,000〈ペア券(2枚)〉

小ホール 14:00~16:00

文化庁平成26年度 戦略的芸術文化創造推進事業

〈東京交響楽団／オーケストラのマーケティング・リサーチと芸術団体のための戦略プラン構築事業 報告会〉

東京交響楽団の演奏会鑑賞者の調査をもとに、芸術団体が顧客分析を通じて、鑑賞者と支援者拡大を行うためのマーケティング展開を検討した事業の報告会

報告者：
片山泰輔（静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科 教授）
河上宏志（㈱ライブ・マーケティング 代表取締役／マーケティング・コンサルタント）
橋本祐一（㈱フェイス 企画営業本部 部長）
司会：
梶川純子（公財）東京交響楽団 支援開拓本部長

リレーエッセイ㉓

おかげさまで10周年



兵庫県立芸術文化センター
（兵庫芸術文化センター管弦楽団）
プロデューサー
横守稔久

兵庫芸術文化センター管弦楽団（PAC）は2015年で誕生10周年を迎えます。私にしてみれば、やっと10年、という感がありますが、オケ連加盟の諸先輩楽団に比べますと、まだまだ鼻の垂れた子どものようなオーケストラだなと、諸先輩方の歩んでこられた道のりの偉大さに気が遠くなる次第です。

さて、この PAC。限られた予算で最大の効果を出すという部分から、これまでにない新しいシステムを持たせています。正直、この新しいシステムというのがこの10年間の試行錯誤の連続だったのですが、以下、簡単にご紹介を。

まず、若手育成型のオーケストラであるということ。オーケストラというのは、様々なところで育成されたプレイヤーが集い、その技術を発揮する集団、というのが一般的ですが、PAC は将来のプレイヤーを育成する場、としています。ただし、学校のような授業があるわけではなく、年間100公演もの演奏活動の中で、公演毎に招聘する国内外のベテランプレイヤーとの共演を通じ、各自で成長していきます。と、言葉で書くと2～3行で書けてしまうのですが、このシステムが定着してきたのはこの2～3年のこと。それまでは、若手育成型のプロフェッショナルオーケストラとは何ぞや？の連続でした。

そしてもう一つ、この若手育成の対象を全世界としたこと。おそらく日本では最も外国籍団員の比率が高いオーケストラだと思いますが、その国籍も様々。「音楽は世界の共通語」、なんていうことはどこへやら。国が違えば文化も違う、「日本では……」などということは一切通用しない世界。設立時、オーケストラの運営を軌道に乗せるだけでも大変な時期に、この異文化コミュニケーションという課題も乗ってきたので、それはドタバタの連続でした。

そんな PAC ですが、PAC で3年を過ごしたメンバーが国内外で活躍し出し、また、この若手育成のシステムに共感してくれるアーティストも増えつつあります。最初は海のものとも山のものとも分からないオーケストラでしたが、定着してきますと、なかなか良いシステムだと思うのですが……。いかがでしょう？

プロフィール
2004 年兵庫県立芸術文化センター入職。楽団設立時は広報担当でブランディングなど担当。現在は楽団事業の企画・制作、スーパーキッズ・オーケストラの運営全般を担当。

※開演時間変更のお知らせ
前号(88号)Concerts throughout Japan P18においてご紹介したザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団の公演開演時間が下記の通り変更になりましたのでお知らせいたします。
変更前：14：00 変更後：16：00 公演名：オーケストラの日2015 開催日：3月31日(火)

Concerts throughout Japan

正会員　札幌交響楽団　仙台フィルハーモニー管弦楽団　山形交響楽団

4月 April

1日(水)
新日本フィル 室内楽シリーズ
19：15（すみだトリフォニー小）

2日(木)
大阪響 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ
11：00／15：00（ザ・シンフォニー）

3日(金)
新日本フィル 宮川彬良VS新日本フィル ファミリーコンサート
16：00（すみだトリフォニー）
都響 定期B 大野和士 音楽監督就任記念公演1
19：00（サントリー） ⇨12p
関西フィル いずみシリーズ
19：00（いずみホール） ⇨17p

4日(土)
読響 東京芸劇マチネーシリーズ
14：00（東京芸劇）

5日(日)
仙台フィル オーケストラと遊んじゃおう！
10:00／13:30（日立システムズホール仙台）
山響「アマデウスへの旅」盛岡公演
15：00（盛岡市民文化） ⇨10p
日本フィル 名曲コンサート
14：00（サントリー）
読響 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
14：00（みなとみらい）
京響 スプリング・コンサート
14：00（京都コンサート） ⇨16p
九響 名曲・午後のオーケストラ
14：00（アクロス福岡）

8日(水)
都響 定期A 大野和士 音楽監督就任記念公演2
19：00（東京文化） ⇨12p
日本フィル クリスタル・シンフォニック・コンサート
19：00（サントリー）

10日(金)
読響 定期
19：00（サントリー）
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバル） ⇨17p
センチュリー響 定期
19：00（ザ・シンフォニー） ⇨17p
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）

11日(土)
N響 定期 Aプログラム
18：00（NHK） ⇨11p
東響 こども定期
11：00（サントリー）
東京シティ・フィル 定期
14：00（東京オペラシティ） ⇨12p
神奈川フィル 定期 音楽堂シリーズ
15：00（神奈川県立音楽堂）
大阪フィル 定期
15：00（フェスティバル） ⇨17p
センチュリー響 定期
15：00（ザ・シンフォニー） ⇨17p
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）
京フィル 定期
14：00（京都コンサート小） ⇨18p

12日(日)
N響 定期 Aプログラム
15：00（NHK） ⇨11p
新日本フィル サントリーホール定期
14：00（サントリー） ⇨11p
日本フィル サンデーコンサート
14：00（東京芸劇）
読響 東京オペラシティ名曲シリーズ
14：00（東京オペラシティ）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）

13日(月)
大阪響 定期
19：00（ザ・シンフォニー）
テレマン 定期
19：00（中央公会堂） ⇨18p

札幌交響楽団

問合せ　011-520-1771

定期演奏会　会場：札幌コンサートホール Kitara



第578回　Kitaraリニューアルにあわせエリシュカで新シーズン開幕
6月19日(金) 19時／20日(土) 14時
【指揮】ラドミル・エリシュカ（名誉指揮者）
【曲目】ベートーヴェン／交響曲第4番、ブラームス／交響曲第4番

第579回　ポンマー首席指揮者就任記念・PMF2015プレコンサート
7月10日(金) 19時／11日(土) 14時
【指揮】マックス・ポンマー（首席指揮者）【独唱】針生美智子、安藤赴美子、櫻田亮
【合唱】札響合唱団
【曲目】ライプツィヒ千年記念プログラム
シューマン／交響曲第4番、メンデルスゾーン／交響曲第2番「讃歌」

[定期会員・年10プログラム分]
SS45,500円　S41,000円　A37,500円　B34,000円　C22,000円
*U25割（1990年以降生まれ対象）12,000円
[ラッキー・フライデー・クラブ（金曜公演限定会員）10プログラム分] 20,000円
[各1回券]
SS6,500円　S5,500円　A5,000円　B4,500円　C3,000円　*U25割1,500円

詳細は、公式ホームページでご覧ください　http://www.sso.or.jp

仙台フィルハーモニー管弦楽団

問合せ　022-225-3934

定期演奏会　会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール

[全席指定] S：¥5,000（¥2,000）　A：¥4,500（¥1,500）　Z：¥2,000



第291回　5月22日(金) 19時／23日(土) 15時
【指揮】パスカル・ヴェロ　【ソプラノ】鈴木 愛美　【バリトン】宮本 益光
【合唱】仙台放送合唱団、東北大学混声合唱団
デュカス：交響曲　　フォーレ：レクイエム

第292回　6月19日(金) 19時／20日(土) 15時
【指揮】小泉 和裕　【ピアノ】津田 裕也
ブラームス：ピアノ協奏曲第1番　　バルトーク：管弦楽のための協奏曲

第293回　7月24日(金) 19時／25日(土) 15時
【指揮】秋山 和慶
カリンニコフ：交響曲第1番　　チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」





© Ivan Malý

シーズン オープニングコンサート

4月16日(木) 午後7時開演（午後6時30分開場）　日立システムズホール仙台・コンサートホール
【指揮】小泉 和裕　【ヴァイオリン】神谷 未穂（仙台フィルコンサートマスター）
【コントラバス】助川 龍（仙台フィルソロ首席コントラバス奏者）【合唱】宮城三女 OG 合唱団
ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲　　ボッテシーニ：ヴァイオリンとコントラバスのためのグラン・デュオ・コンチェルタンテ
ホルスト：組曲「惑星」
【全席指定】S：¥4,000（¥2,000）　A：¥3,000（¥1,500）
※括弧内ユース料金。演奏会当日に 25 歳未満の方が対象。

お申込み・お問合せ：
仙台フィルサービス
http://www.sendaiphil.jp/

山形交響楽団

問合せ　023-625-2203



第244回定期
4月18日(土) 16:00
山形テルサ・テルサホール
【指揮】阪 哲朗
【ピアノ】イリーナ・メジューエワ
廣瀬量平／オーケストラのための「朝のセレナーデ」
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
シューマン／交響曲 第1番 変ロ長調 op.38「春」

第245回定期
5月 9日(土) 19:00
5月10日(日) 16:00
山形テルサ・テルサホール
【指揮】飯森範親
【チェロ】新倉 瞳
ヴォーン・ウィリアムズ／グリーンスリーブスの主題による幻想曲
エルガー／チェロ協奏曲 ホ短調
ヴェルディ／オペラ序曲集　他

第246回定期
7月19日(日) 16:00
山形テルサ・テルサホール
【指揮】鈴木秀美
メンデルスゾーン／交響曲 第4番 イ長調「イタリア」
ベートーヴェン／交響曲 第6番 ヘ長調「田園」

ユアタウンコンサート米沢
7月26日(日) 16:00
伝国の杜（置賜文化ホール）
【指揮】大井剛史
【ヴァイオリン】長尾春花
シューベルト／イタリア風序曲 ハ長調
パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第2番 ロ短調
ブラームス／交響曲 第2番 ニ長調 op.73

〈お問合せ・お申し込み〉山響チケットサービス　TEL：023-625-2204（月～金※祝日を除く10:00～17:00）



オーケストラの日 第9回
ミミにいちばん
ミミにいいひ！
3月31日は！

群馬交響楽団

問合せ　027-322-4316

群馬交響楽団の定期公演ご案内



2015 オープニングコンサート
4月18日(土)【開演】18:45
【会場】群馬音楽センター
【指揮】大友直人
【曲目】ブラームス／大学祝典序曲作品80、ベートーヴェン／交響曲第1番ハ長調作品21、バルトーク／管弦楽のための協奏曲 BB123

第508回定期演奏会
5月16日(土)【開演】18:45
【会場】群馬音楽センター
【指揮】尾高忠明
【フルート】カール＝ハインツ・シュッツ
【曲目】ブリテン／歌劇《ピーター・グライムズ》より「4つの海の間奏曲」作品33a、尾高尚忠／フルート協奏曲作品30b、ラフマニノフ／交響曲第1番二短調作品13

第509回定期演奏会
6月20日(土)【開演】18:45
【会場】群馬音楽センター
【指揮】大友直人　【ピアノ】小川典子
【曲目】シベリウス／交響曲第6番二短調作品104、グリーグ／ピアノ協奏曲イ短調作品16、ストラヴィンスキー／組曲「火の鳥」(1919年版)

第510回定期演奏会
7月18日(土)【開演】18:45
【会場】群馬音楽センター
【指揮】グスターボ・ヒメノ
【ピアノ】小菅優　【ソプラノ】小林沙羅
【曲目】ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15、マーラー／交響曲第4番ト長調

第39回東毛定期演奏会
7月19日(日)【開演】15:00
【会場】太田市新田文化会館
【指揮】グスターボ・ヒメノ
【ピアノ】小菅優
【ソプラノ】小林沙羅
【曲目】ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15、マーラー／交響曲第4番ト長調

NHK交響楽団

問合せ　03-3465-1780

N響 SPRING SEASON

定期公演（会場：NHK ホール）



©Monika Rittershaus　©Felix Broede　©Priska Ketterer　©J.Henry Fair　©Marc Ginot

料金（1回券）　S ¥8,800 ～ E(自由席)¥1,500
※ユースチケット(25歳以下)のお取り扱いもあります。

4/11(土)18:00, 12(日)15:00
ベートーヴェン／交響曲 第6番 ヘ長調 作品68「田園」ほか
指揮：セバスティアン・ヴァイグレ

4/17(金)19:00, 18(土)15:00
リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」作品35 ほか
指揮：ウラディーミル・フェドセーエフ

5/9(土)18:00, 10(日)15:00
シベリウス／交響曲 第2番 ニ長調 作品43 ほか
指揮：ユッカ・ペッカ・サラステ

5/15(金)19:00, 16(土)15:00
ドビュッシー／交響詩「海」ほか
指揮：デーヴィッド・ジンマン

6/6(土)18:00, 7(日)15:00
ラヴェル／ボレロ ほか
指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ

6/12(金)19:00, 13(土)15:00
ラフマニノフ／交響的舞曲 作品45 ほか
指揮：アンドリス・ポーガ

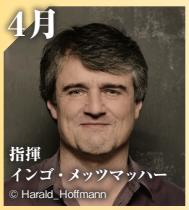
【資料請求・お問い合わせ】N響ガイド 03-3465-1780／営業：平日10:00～18:00 ／ 定休日：土・日・祝日・定期公演Aプロ翌月曜　http://www.nhkso.or.jp

新日本フィルハーモニー交響楽団

問合せ　03-5610-3815

新日本フィル 2014/2015 Season 定期演奏会

www.njp.or.jp
NEW JAPAN PHILHARMONIC SUMIDA, TOKYO



4/12(日) 14:00 サントリーホール
ヤナーチェク／シンフォニエッタ
バルトーク／管弦楽のための協奏曲　ほか

4/17(金) 19:15, 18(土) 14:00 すみだトリフォニーホール
ヴァレーズ／アメリカ
R. シュトラウス／交響詩『死と変容』　ほか



6/14(日) 14:00 サントリーホール
オーボエ：古部賢一（NJP首席オーボエ奏者）
J.S. バッハ／オーボエ協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第3番『英雄』　ほか

6/19(金) 19:15, 20(土) 14:00 すみだトリフォニーホール
〈ストラヴィンスキー3部作〉
バレエ音楽『火の鳥』(1919 版)
『ペトルーシュカ』『春の祭典』



5/22(金) 19:15, 23(土) 14:00 すみだトリフォニーホール
ブリテン／歌劇『ピーター＝グライムズ』より
“4つの海の協奏曲”
エルガー／交響曲第1番　ほか



7/3(金) 19:15 サントリーホール
ピアノ：ラルス・フォークト
ブラームス／ピアノ協奏曲第2番　ほか

7/10(金) 19:15, 11(土) 14:00 すみだトリフォニーホール
ソプラノ：ドロテア・レシュマン
メゾ・ソプラノ：クリスティアーネ・ストーティン
合唱：栗友会合唱団
マーラー／交響曲第2番『復活』

4月 April

14日(火)
OEK 北陸新人登竜門コンサート
19：00（石川音楽堂）

15日(水)
読響 サントリーホール名曲シリーズ
19：00（サントリー）

16日(木)
仙台フィル シーズンオープニングコンサート
19：00（日立システムズホール仙台）⇨10p
読響 読響メトロポリタン・シリーズ
19：00（東京芸劇）

17日(金)
N響 定期 Cプログラム
19：00（NHK）⇨11p
新日本フィル トリフォニー定期第1夜
19：15（すみだトリフォニー）⇨11p
読響 読響カレッジ
20：00（文京シビック）
セントラル愛知 日本音コン
18：30（愛知芸劇）
京響 定期
19：00（京都コンサート）
広響 定期
18：45（広島文化学園 HBG）⇨19p
テレマン マンスリーコンサート
19：00（大阪倶楽部）

18日(土)
札響 特別・モダンコンサート
15：00（札幌市民）
山響 定期
16：00（山形テルサ）⇨10p
群響 オープニングコンサート
18：45（群馬音楽センター）⇨11p
N響 定期 Cプログラム
15：00（NHK）⇨11p
新日本フィル トリフォニー定期第2夜
14：00（すみだトリフォニー）⇨11p
東響 川崎定期
17：00（ミューザ川崎）
日本フィル 横浜定期
18：00（みなとみらい）⇨13p
静響 定期
14：00（マリナート）⇨15p
オペ管 大阪国際フェスティバル オペラ「ランスへの旅」
15：00（フェスティバル）⇨18p

19日(日)
東響 定期
14：00（サントリー）
都響 都響・大阪公演
14：00（フェスティバル）⇨12p
東フィル オーチャード定期
15：00（オーチャード）⇨13p

20日(月)
東フィル サントリー定期
19：00（サントリー）⇨13p

21日(火)
OEK 小松定期
19：00（こまつ芸劇うらら）

22日(水)
N響 定期 Bプログラム
19：00（サントリー）
東フィル 東京オペラシティ定期
19：00（東京オペラシティ）⇨13p
関西フィル センチュリー響 大阪響 大阪フィル 大阪 4大オーケストラの響宴
18：30（フェスティバル）

23日(木)
N響 定期 Bプログラム
19：00（サントリー）

24日(金)
新日本フィル 新・クラシックへの扉
14：00（すみだトリフォニー）
日本フィル 東京定期
19：00（サントリー）⇨13p
名フィル 定期
18：45（愛知芸劇）⇨15p
九響 定期
19：00（アクロス福岡）⇨19p

25日(土)
新日本フィル 新・クラシックへの扉
14：00（すみだトリフォニー）

全国33のプロ・オーケストラでは、一人でも多くの方がオーケストラ音楽に親しみ、オーケストラをもっと身近に感じて頂くきっかけを創ろうと、3月31日をミミにイチバン！「オーケストラの日」として、それぞれの地域で工夫を凝らして展開しています。首都圏では全12楽団が「文京シビックホール」に一堂に会し、オーケストラの魅力を多角的にお伝えする、一日限りの スペシャル を演出します。

Concerts throughout Japan

正会員　東京交響楽団　東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団　東京都交響楽団

4月 April

25日(土)
東響 東京オペラシティシリーズ
14：00（東京オペラシティ）
日本フィル 東京定期
14：00（サントリー）⇨13p
神奈川フィル 定期 みなとみらいシリーズ
14：00（みなとみらい）⇨14p
名フィル 定期
16：00（愛知芸劇）⇨15p
大阪響 名曲コンサート 珍しい楽器の協奏曲シリーズ“コントラバス”
13：30／17：00（ザ・シンフォニー）⇨16p
関西フィル 奈良定期
15：00（なら100年）

26日(日)
東響 名曲全集
14：00（ミューザ川崎）
広響 廿日市定期
15：00（さくらぴあ）
テレマン 定期
15：00（東京文化）

29日(水・祝)
東響 ～0歳からのオーケストラ～ズーラシアンブラスmeets東京交響楽団
11：00／14：30（ミューザ川崎）
都響「作曲家の肖像」〈北欧〉
14：00（東京芸劇）
OEK ラ・フォル・ジュルネ金沢
14：00（石川音楽堂）
関西フィル 定期
14：00（ザ・シンフォニー）⇨17p

5月 May

1日(金)
日本フィル 伝説のベートーヴェン
イブリー・ギトリスの協奏曲
19：00（東京オペラシティ）
兵庫芸文管 オリヴィエ・シャルリエwith PAC ヴィヴァルディ「四季」
14：00（芸術文化センター）⇨18

4日(月・祝)
OEK ラ・フォル・ジュルネ金沢
11：00／16：00（石川音楽堂）

5日(火・祝)
新日本フィル 新・クラシックへの扉
特別編～久石譲 現代の音楽への扉～
14：00（すみだトリフォニー）
OEK ラ・フォル・ジュルネ金沢
16：15／20：00（石川音楽堂）
京フィル はじめてのクラシック
11：00／14：30（京都コンサート小）

7日(木)
関西フィル スプリングスペシャル
19：00（フェニックス）

8日(金)
兵庫芸文管 室内楽
PAC PERCUSSION！
14：00（芸術文化センター小）

9日(土)
山響 定期
19：00（山形テルサ）⇨10p
N響 定期 Aプログラム
18：00（NHK）⇨11p
東京シティ・フィル 定期
14：00（東京オペラシティ）⇨12p
日本フィル 横浜定期
18：00（みなとみらい）
京響 定期
14：30（京都コンサート）
センチュリー響 四季コンサート春
15：00（いずみホール）⇨17p
兵庫芸文管 室内楽
PAC PERCUSSION！
14：00（芸術文化センター小）

10日(日)
札響 札響シンフォニック・ブラス
15：00（札幌・ニトリ文化）

東京交響楽団

問合せ　044-520-1511

第632回定期演奏会
2015年7月16日(木) 7:00p.m. サントリーホール
S¥9,000　A¥7,000　B¥6,000　C¥4,000　P¥2,000

川崎定期演奏会 第51回
2015年7月18日(土) 5:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホール
S¥9,000　A¥7,000　B¥5,000　C¥4,000　P¥2,000

【指揮】ジョナサン・ノット　【ピアノ】デジュー・ラーンキ
ストラヴィンスキー／管楽器のための交響曲　バルトーク／ピアノ協奏曲 第1番
ベートーヴェン／交響曲 第5番「運命」



本管楽器と金管楽器だけで演奏されるストラヴィンスキーの珍しい作品のあとは、1970年代半ば、コチシュ、シフとともに「ハンガリーの若手三羽がらす」と呼ばれ、たいへんな人気を博していたラーンキの登場です。約40年を経てますます円熟味を増したピアニストが、母国ハンガリーの作曲家バルトークを弾く。いやがうえにも盛り上がることでしょう。交響曲の中で一番有名な「運命」、誰もが知っているこの作品にノットは魔法をかけます。

[HP]http://tokyosymphony.jp　TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511（平日10:00～18:00　土日祝休み）

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

問合せ　03-5624-4002



東京都交響楽団

問合せ　03-3822-0727



2015年4月、大野×都響の新時代へ。

都響 音楽監督 大野和士 50th ANNIVERSARY

第786回定期演奏会Bシリーズ
大野和士 音楽監督就任記念公演1
4月3日(金) 19:00　サントリーホール
シュニトケ：合奏協奏曲第4番＝交響曲第5番(1988)
ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 op.67《運命》

第787回定期演奏会Aシリーズ
大野和士 音楽監督就任記念公演2
4月8日(水) 19:00　東京文化会館
マーラー：交響曲第7番 ホ短調

東京都交響楽団 創立50周年記念
大阪特別公演
4月19日(日) 14:00　フェスティバルホール
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 op.30
（ピアノ／小山実稚恵）
チャイコフスキー：交響曲第4番 ヘ短調 op.36

都響ガイド 03-3822-0727
10:00～18:00(月～金)　土日祝：休
都響WEBチケット http://www.tmso.or.jp

©HARUKI

都響公演アーカイブ公開中／2015年度都響パンフレット(3月下旬完成予定)

フォーマルウェアの豆知識

音楽家の方が着用している、タキシードや燕尾服のパンツに入っているラインの意味とは？

タキシードや燕尾服（テイルコート）のパンツには、ラインが入っています。このラインを側章（そくしょう）と呼びます。一体誰が何の為に入れたのでしょうか。側章が誕生したのは18世紀末から19世紀頃に生まれたと言われています。

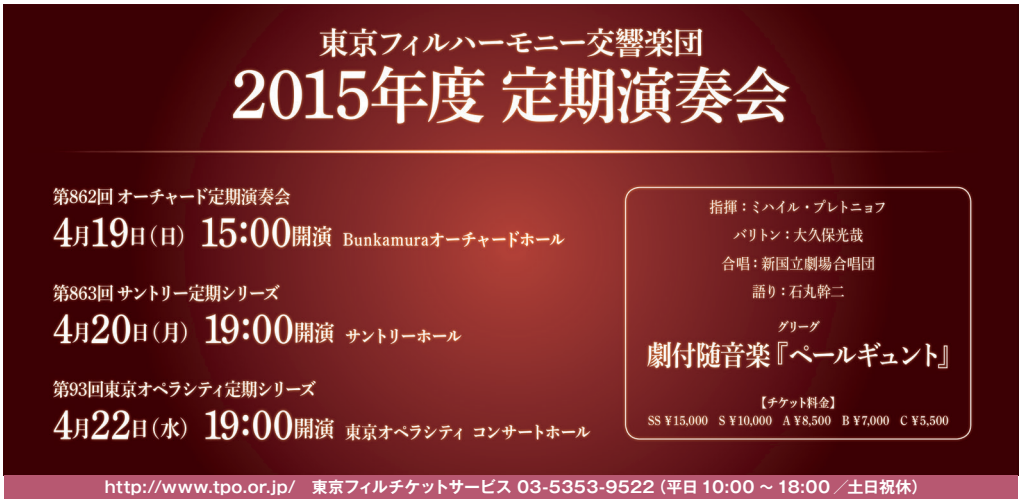
東京ニューシティ管弦楽団

問合せ　03-5933-3222



東京フィルハーモニー交響楽団

問合せ　03-5353-9522



日本フィルハーモニー交響楽団

問合せ　03-5378-5911



5月 May

10日(日)
- 山響 定期 16：00（山形テルサ）⇨10p
- N響 定期 Aプログラム 15：00（NHK）⇨11p
- 東響 名曲全集 14：00（ミューザ川崎）
- OEK アフタヌーン・スペシャル 14：00（石川音楽堂）
- 京響 定期 14：30（京都コンサート）
- 広響 音楽の花束〈春〉 15：00（フェニックスホール）
- 九響 天神でクラシック 15：00（FFG）

13日(水)
- 都響 定期A 19：00（東京文化）
- 読響 定期 19：00（サントリー）⇨14p

14日(木)
- 東響 定期 19：00（サントリー）
- 関西フィル いずみシリーズ 19：00（いずみホール）⇨17p

15日(金)
- N響 定期 Cプログラム 19：00（NHK）⇨11p
- 日本フィル 東京定期 19：00（サントリー）
- セントラル愛知 定期 18：45（しらかわホール）⇨15p
- 大阪フィル 定期 19：00（フェスティバル）⇨17p
- 兵庫芸文管 定期 15：00（芸術文化センター）⇨18
- 京フィル 室内楽コンサート 19：00（京都府民ホール）

16日(土)
- 群響 定期 18：45（群馬音楽センター）⇨11p
- N響 定期 Cプログラム 15：00（NHK）⇨11p
- ニューシティ管 定期 14：00（東京芸劇）⇨13p
- 日本フィル 東京定期 14：00（サントリー）
- 神奈川フィル 定期 みなとみらいシリーズ 14：00（みなとみらい）
- 大阪フィル 定期 15：00（フェスティバル）⇨17p
- 兵庫芸文管 定期 15：00（芸術文化センター）⇨18
- 奈良フィル サロンコンサート 14：00（やまと郡山城）⇨18p

17日(日)
- 都響 プロムナードコンサート 14：00（サントリー）
- 東フィル オーチャード定期 15：00（オーチャード）
- 読響 東京芸劇マチネーシリーズ 14：00（東京芸劇）
- 兵庫芸文管 定期 15：00（芸術文化センター）⇨18
- 中部フィル 創立15周年記念演奏会 15：00（愛知芸劇）⇨15p

18日(月)
- 東フィル サントリー定期 19：00（サントリー）

19日(火)
- 日本フィル とっておきアフタヌーン 13：00（サントリー）
- 関西フィル 定期 19：00（ザ・シンフォニー）⇨17p

20日(水)
- N響 定期 Bプログラム 19：00（サントリー）

21日(木)
- N響 定期 Bプログラム 19：00（サントリー）
- 東フィル 東京オペラシティ定期 19：00（東京オペラシティ）

カインドウェア　http//www.kindware,co.jp

その当時勢力を誇っていたのはナポレオンの軍でした。歩兵部隊や騎兵部隊、砲兵部隊など数々の部隊を率いている為、その兵の種類分けのために軍服に側章が採用されたことが起源と言われています。色とラインの数で兵を区別していたというわけですね。したがって、タキシードや燕尾服などのフォーマルウェアの起源も軍服が大きく関わっているというわけです。

現在では、パンツの縫い目を隠すという意味でも側章を入れているのです。

Concerts throughout Japan

正会員　読売日本交響楽団　神奈川フィルハーモニー管弦楽団

5月 May

22日(金)
- 仙台フィル 定期 19：00（日立システムズホール仙台）⇨10p
- 新日本フィル トリフォニー定期第1夜 19：15（すみだトリフォニー）⇨11p
- 日本フィル さいたま定期 19：00（大宮ソニック）
- 読響 サントリーホール名曲シリーズ 19：00（サントリー）
- 名フィル 定期 18：45（愛知芸劇）⇨15p
- 大阪フィル ソワレ・シンフォニー 19：30（ザ・シンフォニー）
- 広響 定期 18：45（広島文化学園 HBG）⇨19p
- 九響 定期 19：00（アクロス福岡）⇨19p
- テレマン マンスリーコンサート 19：00（大阪倶楽部）

23日(土)
- 仙台フィル 定期 15：00（日立システムズホール仙台）⇨10p
- 新日本フィル トリフォニー定期第2夜 14：00（すみだトリフォニー）⇨11p
- 東響 東京オペラシティシリーズ 14：00（東京オペラシティ）
- 名フィル 定期 16：00（愛知芸劇）⇨15p
- 静響 定期 エッセンシャル・モーツァルト・シリーズ 14：00（マリナート）⇨15p

24日(日)
- 日本フィル 名曲コンサート 14：00（サントリー）

25日(月)
- 新日本フィル 室内楽シリーズ 19：15（すみだトリフォニー小）
- 関西フィル ヨーロッパ公演記念 19：00（オリックス）

26日(火)
- OEK オペラ「フィガロの結婚」金沢公演 18：30（金沢歌劇座）

29日(金)
- 新日本フィル 新・クラシックへの扉 14：00（すみだトリフォニー）
- 都響 定期B 19：00（サントリー）
- 読響 読響メトロポリタン・シリーズ 19：00（東京芸劇）
- 大阪響 定期 19：00（ザ・シンフォニー）

30日(土)
- 新日本フィル 新・クラシックへの扉 14：00（すみだトリフォニー）
- 読響 みなとみらいホリデー名曲シリーズ 14：00（みなとみらい）

31日(日)
- セントラル愛知 岩倉定期 14：00（岩倉総体文）
- ニューフィル千葉 定期 14：00（習志野文化）⇨14p

6月 June

5日(金)
- 東京シティ・フィル 定期 19：00（東京オペラシティ）
- 読響 定期 19：00（サントリー）
- センチュリー響 いずみ定期 19：00（いずみホール）⇨17p
- 兵庫芸文管 PAC室内楽 10：30（芸術文化センター小）
- 広響 ディスカバリー・シリーズI 18：45（アステールプラザ）

6日(土)
- N響 定期 Aプログラム 18：00（NHK）⇨11p
- 東響 定期 18：00（サントリー）
- 日本フィル 横浜定期 18：00（みなとみらい）
- 名フィル しらかわシリーズ 16：00（しらかわホール）
- 九響 名曲・午後のオーケストラ 14：00（アクロス福岡）
- テレマン 教会音楽シリーズ 18：00（夙川教会）

読売日本交響楽団

問合せ　0570-00-4390

注目の新鋭イェンセンが、傑作「レニングラード」を指揮
古典派の名手シュタイアーが、モーツァルトで共演！

2015年5月13日(水) 19:00開演 サントリーホール

【指揮】エイヴィン・グルベルグ・イェンセン　【ピアノ】アンドレアス・シュタイアー
【曲目】モーツァルト／ピアノ協奏曲 第17番
ショスタコーヴィチ／交響曲 第7番「レニングラード」
【料金】S ￥7,200　A ￥6,100　B ￥5,100　C ￥3,600


© Mat Hennek

ドイツで研鑽を積む若き新星が登場！ 石川星太郎が魅せる華麗なる「新世界」

2015年6月19日(金) 20:00開演 文京シビックホール 大ホール

【指揮】石川 星太郎　【ナビゲーター】中井 美穂　※開演30分前から解説あり。
【曲目】ドヴォルザーク／交響曲 第9番「新世界から」
【料金】S ￥5,100　A ￥4,100　B ￥3,000



http://yomikyo.or.jp/

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

問合せ　045-226-5107

定期演奏会みなとみらいシリーズ第308回

2015年4月25日(土) 14時　横浜みなとみらいホール

【指揮】川瀬賢太郎（常任指揮者）
レスピーギ／交響詩「ローマの松」
交響詩「ローマの祭」　ほか
【料金】S6,000円　A4,500円　B3,000円



定期演奏会 県民ホールシリーズ 第4回

2015年6月28日(日) 15時　神奈川県民ホール

【指揮】現田茂夫　【ソプラノ】大隅智佳子　ほか
プッチーニ／歌劇「トゥーランドット」ハイライト　ほか
【料金】S6,000円　A4,000円　B2,000円



http://www.kanaphil.or.jp

準会員　東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団　ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

問合せ　03-3766-0876



ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

問合せ　043-222-4231

財団創立30周年記念事業 第97回定期演奏会
～30年の時を奏でるブラームス～

Web：http://npoc.info/

5月31日(日) 14:00開演 会場：習志野文化ホール
（JR津田沼駅徒歩約5分）

【指揮】飯守 泰次郎　【ピアノ】津田 裕也
【料金】S席4000円　A席 3000円　B席 2000円
（大学生以下、65歳以上は全券種とも各 500 円引き）
【曲目】ワーグナー：楽劇「ニュルンベルグのマイスタージンガー」前奏曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番ト長調作品58
ブラームス：交響曲第1番ハ短調作品68



セントラル愛知交響楽団

問合せ　052-581-3851



第140回定期演奏会
2015年5月15日(金)
18:45 開演

【指揮】齊藤一郎（当団首席客演指揮者）
ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲第１番ホ長調「春」Op.8-1,RV269
ボッケリーニ：交響曲第４番ニ短調「悪魔の棲む家」Op.12-4,G.506
ベルリオーズ：幻想交響曲 Op.14





第141回定期演奏会
2015年6月12日(金)
18:45 開演

【指揮】セルジオ・ロサレス
【クラリネット】エディ・ヴァノオーストハーゼ
モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」K.492より序曲
ヤン・ヴァン デルロースト：クラリネット協奏曲（日本初演）
モーツァルト:交響曲第 40 番ト短調 K.550





第142回定期演奏会
2015年7月17日(金)
18:45 開演

【指揮】レオシュ・スワロフスキー
（当団音楽監督）
【ヴァイオリン】島田真千子
（当団ソロコンサートマスター）
ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.77
ブラームス：交響曲第４番ホ短調 Op.98

会場：三井住友海上しらかわホール
A 席￥4,300　B 席￥3,200　C 席￥2,200　学生￥1,000他

［お問い合わせ］
セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851

名古屋フィルハーモニー交響楽団

問合せ　052-339-5666

定期演奏会
会場：愛知県芸術劇場 コンサートホール　名フィル　http://www.nagoya-phil.or.jp/



4月24,25日
第423回「自作・他作の転用」
【出演】円光寺雅彦（指揮／名フィル正指揮者）
リチャード・リン＊（ヴァイオリン）
市原愛＊＊（ソプラノ）
【曲目】コルンゴルト：組曲『シュトラウシアーナ』
コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲＊
マーラー：交響曲第４番＊＊



6月19,20日
第425回「オーケストレーションの魔術師たち−1」
【出演】ティエリー・フィッシャー（指揮／名フィル名誉客演指揮者）
三浦文彰＊（ヴァイオリン）
【曲目】ラヴェル：高雅にして感傷的なワルツ
サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第３番＊
ラヴェル：道化師の朝の歌
ドビュッシー［ジャレル編］：３つの練習曲
ラヴェル：ボレロ



5月22,23日
第424回「マーラーの改訂」
【出演】川瀬賢太郎（指揮／名フィル指揮者）
藤井美雪＊（メゾ・ソプラノ）
野田清隆＊（ピアノ）
名古屋少年少女合唱団＊（児童合唱）
【曲目】メンデルスゾーン：序曲『静かな海と楽しい航海』
権代敦彦：子守歌−メゾ・ソプラノ、ピアノ、児童合唱とオーケストラのための＊
シューマン［マーラー編］：交響曲第３番『ライン』



7月24,25日
第426回「オーケストレーションの魔術師たち−2」
【出演】マーティン・ブラビンズ（指揮／名フィル常任指揮者）
サイモン・ベイリー＊（バリトン）
【曲目】リムスキー＝コルサコフ：スペイン奇想曲
ムソルグスキー［ラスカトフ編］：歌曲集『死の歌と踊り』＊
藤倉大：歌曲集『世界にあてたわたしの手紙』＊
ムソルグスキー［ラヴェル編］：組曲『展覧会の絵』

【料金】S席：￥6,200〜 C席：￥3,100（第426回は S席：￥7,200〜 C席：￥4,100）　※ 24歳以下・65歳以上に割引あり

静岡交響楽団

問合せ　054-203-6578

第57回定期演奏会
〜ドイツ音楽の真髄〜
4月18日(土) 14:00開演
静岡市清水文化会館マリナート中ホール（大ホール内）

【指揮】飯守泰次郎
【ピアノ】金子三勇士
【曲目】リスト／ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調、ブラームス／交響曲第４番 ホ短調 作品 98 ほか
【料金】全席指定　4000円





第58回定期演奏会
エッセンシャル・モーツァルト・シリーズ Vol.6
5月23日(土) 14:00開演
静岡市清水文化会館マリナート中ホール（大ホール内）

【指揮】篠崎靖男
【ヴァイオリン】Yoojin Jang
【曲目】ヴァイオリン協奏曲第５番 イ長調 K.219、交響曲第 41番 ハ長調 K.551　ほか
【料金】全席指定　4000円



中部フィルハーモニー交響楽団

問合せ　0568-43-4333

創立15周年・秋山和慶 指揮生活50周年記念演奏会 マーラー「復活」
5月17日(日) 開演15:00
愛知県芸術劇場コンサートホール

【指揮】秋山 和慶
【ソプラノ】澤畑 恵美　【アルト】林 美智子
【合唱】中部フィル創立15周年記念合唱団
【プログラム】マーラー：交響曲第２番ハ短調「復活」
プラチナ席：8,000 円　S 席：5,000 円（完売）
A 席：4,000 円　B 席：3,000 円
C 席：2,000 円　学生席：1,000 円





第47回定期演奏会
6月27日(土) 開演14:00
三井住友海上しらかわホール

【指揮】秋山 和慶
【ソプラノ】小林 沙羅
【プログラム】
モーツァルト：「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」K.165(158a)
マーラー：交響曲第 4 番ト長調
特別席：5,300 円　指定席：4,300 円
自由席：3,300 円　学生席：1,000 円（自由席のみ）
© Nippon Columbia





チケット好評発売中【お問合せ】http://www.chubu-phil.com/　chubu-phil@nifty.com

6月 June

7日(日)
N響 定期 Aプログラム
15：00（NHK）⇨11p
都響「作曲家の肖像」〈アメリカ〉
14：00（東京芸劇）
日本フィル 特別演奏会
14：30（オペラシティ）

8日(月)
OEK ふれあいコンサート 珠洲
13：30（ラポルトすず）
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバル）⇨17p

9日(火)
OEK ふれあいコンサート
10：00（加賀市文化会館）
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバルホール）⇨17p

10日(水)
OEK ふれあいコンサート
10：10（野々市文化会館）

11日(木)
読響 サントリーホール名曲シリーズ
19：00（サントリー）

12日(金)
N響 定期 Cプログラム
19：00（NHK）⇨11p
日本フィル 東京定期
19：00（サントリー）
セントラル愛知 定期
18：45（しらかわホール）⇨15p
関西フィル 定期
19：00（ザ・シンフォニー）⇨17p
広響 定期
18：45（広島文化学園 HBG）⇨19p

13日(土)
N響 定期 Cプログラム
15：00（NHK）⇨11p
日本フィル 東京定期
14：00（サントリー）
読響 東京芸劇マチネーシリーズ
14：00（東京芸劇）
神奈川フィル 定期 みなとみらいシリーズ
14：00（みなとみらい）
OEK ファンタスティック・クラシカル
15：00（石川音楽堂）
九響 北九州定期
15：00（響ホール）

14日(日)
新日本フィル サントリーホール定期
14：00（サントリー）⇨11p
東響 名曲全集
14：00（ミューザ川崎）

15日(月)
都響 定期B
19：00（サントリー）

16日(火)
読響 読響アンサンブル・シリーズ
19：30（よみうり大手町）

17日(水)
N響 定期 Bプログラム
19：00（サントリー）
新日本フィル 室内楽シリーズ
19：15（すみだトリフォニー小）
東響 全国共同制作プロジェクト モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」〜庭師は見た！
18：30（ミューザ川崎）
大阪フィル オーバック
19：00（ザ・シンフォニー）

18日(木)
N響 定期 Bプログラム
19：00（サントリー）

19日(金)
札響 定期
19：00（札幌 Kitara）⇨10p
仙台フィル 定期
19：00（日立システムズホール仙台）⇨10p
新日本フィル トリフォニー定期第1夜
19：15（すみだトリフォニー）⇨11p
読響 読響カレッジ
20：00（文京シビック）⇨14p
名フィル 定期
18：45（愛知芸劇）⇨15p
センチュリー響 定期
19：00（ザ・シンフォニー）⇨17p
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨18p

20日(土)
札響 定期
14：00（札幌 Kitara）⇨10p
仙台フィル 定期
15：00（日立システムズホール仙台）⇨10p

Concerts throughout Japan

正会員 オーケストラ・アンサンブル金沢　京都市交響楽団　大阪交響楽団

6月 June

20日(土)
群響 定期
18：45（群馬音楽センター）⇨11p
新日本フィル トリフォニー定期第2夜
14：00（すみだトリフォニー）⇨11p
東京シティ・フィル ティアラこうとう定期
14：00（ティアラこうとう）
セントラル愛知 稲沢名曲
14：00（名古屋文理大 中）
名フィル 定期
16：00（愛知芸劇）⇨15p
センチュリー響 定期
15：00（ザ・シンフォニー）⇨17p
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨18p
奈良フィル サロンコンサート
14：00（やまと郡山城）⇨18p

21日(日)
京響 オーケストラ・ディスカバリー
14：00（京都コンサート）
兵庫芸文管 定期
15：00（芸術文化センター）⇨18p

22日(月)
OEK 定期 フィルハーモニー・シリーズ
19：00（石川音楽堂）⇨16p

23日(火)
N響 Music Tomorrow
19：00（東京オペラシティ）
OEK 長野公演
19：00（ホクト文化）⇨16p
九響 定期
19：00（アクロス福岡）⇨19p

24日(水)
読響 読響メトロポリタン・シリーズ
19：00（東京芸劇）
OEK 新潟公演
19：00（りゅーとぴあ）⇨16p

25日(木)
仙台フィル「指揮者のいない演奏会」
19：00（日立システムズホール仙台）
山響 さくらんぼコンサート
19：00（東京オペラシティ）⇨10p
読響 大阪定期
19：00（ザ・シンフォニー）

26日(金)
山響 さくらんぼコンサート
19：00（いずみホール）⇨10p
新日本フィル 新・クラシックへの扉
14：00（すみだトリフォニー）
京響 定期
19：00（京都コンサート）
兵庫芸文管 室内楽 PAC WINDS！
14：00（芸術文化センター小）

27日(土)
札響 名曲・エリシュカ魂の新世界
14：00（札幌 Kitara）
新日本フィル 新・クラシックへの扉
14：00（すみだトリフォニー）
中部フィル 定期
14：00（しらかわホール）⇨15p

28日(日)
日本フィル コバケン・ワールド
14：00（サントリー）
神奈川フィル 定期 県民ホールシリーズ
15：00（神奈川県民）⇨14p
京フィル 定期
14：30（京都コンサート小）⇨18p

29日(月)
都響 定期A
19：00（東京文化）
テレマン マンスリーコンサート
19：00（大阪倶楽部）

7月 July

1日(水)
読響 定期
19：00（サントリー）

オーケストラ・アンサンブル金沢

問合せ　076-232-8632



京都市交響楽団

問合せ　075-711-3110

あのプロジェクション・マッピングが京都コンサートホールに初登場！

京都市交響楽団 スプリング・コンサート

～京響＝広上がお贈りする、春にきらめく色とりどりの名曲と光のファンタジー～

2015年4月5日(日) 14:00開演

会場：京都コンサートホール



【指揮】広上 淳一（常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー）
【曲目】アンダーソン：舞踏会の美女
宮川彬良：ファンタジック！「白雪姫」
デュカス：交響詩「魔法使いの弟子」
リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」第1楽章
ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
ラヴェル：ボレロ

入場料（全席指定） A ¥2,000　B ¥1,500

◆チケットお問合せ：京都コンサートホール・チケットカウンター (075) 711-3231
◆京都市交響楽団オフィシャル・ホームページ http://www.kyoto-symphony.jp/

大阪交響楽団

問合せ　072-226-5522



【オーケストラ名略称】（正会員） 札響（札幌交響楽団） 仙台フィル（仙台フィルハーモニー管弦楽団） 山響（山形交響楽団） 群響（群馬交響楽団） N響（NHK交響楽団） 新日本フィル（新日本フィルハーモニー交響楽団） 東響（東京交響楽団） 東京シティ・フィル（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団） 都響（東京都交響楽団） ニューシティ管（東京ニューシティ管弦楽団） 東京フィル（東京フィルハーモニー交響楽団） 日本フィル（日本フィルハーモニー交響楽団） 読響（読売日本交響楽団） 神奈川フィル（神奈川フィルハーモニー管弦楽団） セントラル愛知（セントラル愛知交響楽団） 名フィル（名古屋フィルハーモニー交響楽団） OEK（オーケストラ・アンサンブル金沢） 京響（京都市交響楽団） 大阪響（大阪交響楽団） センチュリー響（日本センチュ

大阪フィルハーモニー交響楽団

問合せ　06-6656-4890

2015年4月～6月 定期演奏会　会場:フェスティバルホール

第487回定期
4月10日(金) 19:00開演
11日(土) 15:00開演
〈指揮〉井上道義　〈共演〉鼓童
〈曲目〉石井眞木／モノ・プリズム（日本太鼓群とオーケストラのための）、コープランド／バレエ組曲「ビリー・ザ・キッド」、グローフェ／組曲「グランド・キャニオン」



© OrchestraEnsembleKanazawa

第488回定期
5月15日(金) 19:00開演
16日(土) 15:00開演
〈指揮〉準・メルクル
〈曲目〉ストラヴィンスキー／幻想曲「花火」作品 4、ドビュッシー／バレエ音楽「カンマ」、ベルリオーズ／幻想交響曲 作品 14


©飯島隆

第489回定期
6月8日(月)／9日(火) 19:00開演
〈指揮〉ラドミル・エリシュカ
〈独唱〉半田美和子（ソプラノ）、手嶋眞佐子（アルト）、望月哲也（テノール）、青山　貴（バス）
〈合唱〉大阪フィルハーモニー合唱団
〈曲目〉ドヴォルザーク／スターバト・マーテル 作品 58


©佐藤雅英

料金:A席6,000円　B席 5,000円　C席 4,000円　学生席(3階席)※ 1,000円　BOX席 7,000円
※学生席（25 歳以下）のご予約は大阪フィル公式 HP よりお申込みください（インターネット販売のみ）。
ご予約・お問い合わせ：大阪フィル・チケットセンター　06-6656-4890　http://www.osaka-phil.com/

関西フィルハーモニー管弦楽団

問合せ　06-6577-1381

4月3日(金) 19時　いずみホール　「いずみホールシリーズVol.36」
5,000 円（S）4,000 円（A）
指揮：藤岡幸夫，冨田勲：源氏物語幻想交響絵巻

4月29日(水･祝) 14時　ザ･シンフォニーホール　「第264回定期演奏会」
6,000 円（S）4,500 円（A）3,000 円（B）2,000 円（C）1,000 円（学生）
指揮：飯守泰次郎，メンデルスゾーン：聖パウロ

5月14日(木) 19時　いずみホール　「いずみホールシリーズVol.37」
5,000 円（S）4,000 円（A）
指揮：A. デュメイ，A. パスカル（Vc）ドヴォルザーク：チェロ協奏曲，ベートーヴェン：交響曲第 7 番

5月19日(火) 19時　ザ･シンフォニーホール　「第265回定期演奏会」
6,000 円（S）4,500 円（A）3,000 円（B）2,000 円（C）1,000 円（学生）
指揮：A. デュメイ，児玉桃（Pf）モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ第 25 番，ビゼー：交響曲第 1 番ほか

6月12日(金) 19時　ザ･シンフォニーホール　「第266回定期演奏会」
6,000 円（S）4,500 円（A）3,000 円（B）2,000 円（C）1,000 円（学生）
指揮：藤岡幸夫，横山幸雄（Pf）ブラームス：ピアノ協奏曲第 2 番，ヴォーン・ウィリアムズ：田園交響曲

7月16日(木) 19時　ザ･シンフォニーホール　「第267回定期演奏会」
6,000 円（S）4,500 円（A）3,000 円（B）2,000 円（C）1,000 円（学生）
指揮：秋山和慶，エルガー：「コケイン」序曲，交響曲第 1 番ほか


© s.yamamoto

日本センチュリー交響楽団

問合せ　06-6868-3030

第200回 定期演奏会
4.10 19:00 金
4.11 15:00 土
和田 薫：祝響～日本センチュリー交響楽団のためのファンファーレ～（委嘱作品、世界初演）
シューマン：ピアノ協奏曲
マーラー：大地の歌





指揮 飯森 範親　ピアノ 小山 実稚恵　テノール 福井 敬　バリトン 与那城 敬

第201回 定期演奏会
6.19 19:00 金
6.20 15:00 土
ムソルグスキー：歌劇「ホヴァーンシチナ」より 前奏曲 “モスクワ川の夜明け”
ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲 第 1 番
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲「展覧会の絵」


指揮 アラン・ブリバエフ

ヴァイオリン ヨシフ・イワノフ

ザ・シンフォニーホール　S席：7,500円／A席：6,000円／B席：4,500円／C席：3,500円／D席：1,500円（税込・全席指定・未就学児童入場不可）

センチュリー四季コンサート2015 春　5.9土 15:00 いずみホール
「ユー・レイズ・ミー・アップ」、「タイム・トゥ・セイ・グッドバイ」
「タイタニック」、「ガーシュイン」メドレー
「ロマンティック・シャンソン」～枯葉、サン・トワ・マミー ほか
「ロマンティック・スタンダード・バラード」
～虹の彼方に、酒とバラの日々 ほか
「グッド・オールド・スイング」～イン・ザ・ムード、A 列車で行こう ほか
A席：3,500円／B席：3,000円
（税込・全席指定・未就学児童入場不可）


指揮／編曲 ポプ佐久間

いずみ定期演奏会 No.27 ～ハイドンマラソン～　6.5金 19:00 いずみホール
ハイドン：交響曲 第35番
ハイドン：チェロ協奏曲 第2番
ハイドン：交響曲 第17番
ハイドン：交響曲 第6番「朝」
A席：4,500円／B席：3,500円
（税込・全席指定・未就学児童入場不可）


指揮 飯森 範親

チェロ アントニオ・メネセス

7月 July

3日(金)
新日本フィル サントリーホール定期 19：15（サントリー）⇨11p
日本フィル さいたま定期 19：00（大宮ソニック）
兵庫芸文管 PAC室内楽 10：30（芸術文化センター小）

4日(土)
東響 こども定期 11：00（サントリー）
日本フィル 横浜定期 18：00（みなとみらい）
京響 みんなのコンサート 14：00（京都こども文化）

5日(日)
東響 名曲全集 14：00（ミューザ川崎）
東フィル 午後のコンサート 14：00（東京オペラシティ）
名フィル 名フィル･ウィンド･オーケストラ 15：00（日本特殊陶業市民会館）
京響 みんなのコンサート 14：00（京都市右京ふれあい）

6日(月)
九響 定期 19：00（アクロス福岡）⇨19p

8日(水)
新日本フィル 室内楽シリーズ 19：15（すみだトリフォニー小）

9日(木)
京フィル 室内楽コンサート 19：00（京都文化博物館）

10日(金)
札響 ポンマー首席指揮者就任記念定期 19：00（札幌 Kitara）⇨10p
新日本フィル トリフォニー定期第1夜 19：15（すみだトリフォニー）⇨11p
日本フィル 東京定期 19：00（サントリー）
神奈川フィル 定期 みなとみらいシリーズ 19：00（みなとみらい）
大阪響 定期 19：00（ザ・シンフォニー）

11日(土)
札響 ポンマー首席指揮者就任記念定期 14：00（札幌 Kitara）⇨10p
新日本フィル トリフォニー定期第2夜 14：00（すみだトリフォニー）⇨11p
東響 東京オペラシティシリーズ 14：00（東京オペラシティ）
日本フィル 東京定期 14：00（サントリー）
センチュリー響 四季コンサート夏 15：00（いずみホール）

12日(日)
都響 プロムナードコンサート 14：00（サントリー）
東フィル オーチャード定期 15：00（オーチャード）
OEK ファミリークラシック（石川音楽堂）

14日(火)
大阪フィル マチネ・シンフォニー 14：00（ザ・シンフォニー）

15日(水)
名フィル 市民会館名曲シリーズ 18：45（日本特殊陶業市民会館）

16日(木)
東響 定期 19：00（サントリー）⇨12p
東フィル 東京オペラシティ定期 19：00（東京オペラシティ）
関西フィル 定期 19：00（ザ・シンフォニー）⇨17p

17日(金)
N響 N響「夏」 19：00（NHK）
東フィル サントリー定期 19：00（サントリー）

リー交響楽団）　大阪フィル（大阪フィルハーモニー交響楽団）　関西フィル（関西フィルハーモニー管弦楽団）　兵庫芸文管（兵庫芸術文化センター管弦楽団）　広響（広島交響楽団）九響（九州交響楽団）
（準会員）ユニフィル（東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団）　ニューフィル千葉（ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉）　静響（静岡交響楽団）中部フィル（中部フィルハーモニー交響楽団）　京フィル（京都フィルハーモニー室内合奏団）　オペラハウス管（ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団）　テレマン（テレマン室内オーケストラ）　奈良フィル（奈良フィルハーモニー管弦楽団）

正会員 兵庫芸術文化センター管弦楽団

7月 July

17日(金)
セントラル愛知 定期
18：45（しらかわホール）⇨15p

18日(土)
仙台フィル 歌劇「椿姫」
15：00（東京エレクトロンホール宮城）
群響 定期
18：45（群馬音楽センター）⇨11p
東響 川崎定期
17：00（ミューザ川崎）⇨12p
東京シティ・フィル ティアラこうとう定期
14：00（ティアラこうとう）
日本フィル 夏休みコンサート
14：00（千葉県文化）
名フィル 市民会館名曲シリーズ
16：00（日本特殊陶業市民会館）
OEK 定期 マイスター・シリーズ
14：00（石川音楽堂）
京響 定期
14：30（京都コンサート）
九響 天神でクラシック
15：00（FFG）
奈良フィル サロンコンサート
14：00（やまと郡山城）

19日(日)
山響 定期
16：00（山形テルサ）⇨10p
群響 東毛定期
15：00（太田市新田文化）⇨11p
N響 第17回 N響松山定期
18：00（ひめぎんホール）
都響 都響スペシャル
14：00（サントリー）
日本フィル 夏休みコンサート
11：00／14：00（東京芸劇）
京響 定期
14：30（京都コンサート）
広響 呉定期
14：30（呉市文化ホール）

20日(月・祝)
都響 都響スペシャル
14：00（サントリー）
ニューシティ管 オーケストラといっしょ♪
14：00（練馬文化）
日本フィル 夏休みコンサート
14：00（東京芸劇）
名フィル「夢いっぱいの特等席」チャリティコンサート
15：00（名古屋市公会堂大）
静響 定期
14：00（マリナート）

21日(火)
テレマン 定期
19：00（中央公会堂）

22日(水)
札響 札響ポップス
19：00（札幌 Kitara）
日本フィル 夏休みコンサート
14：00（府中の森）

23日(木)
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバル）

24日(金)
仙台フィル 定期
19：00（日立システムズホール仙台）⇨10p
ニューシティ管 定期
19：00（東京芸劇）⇨13p
日本フィル 夏休みコンサート
11：00／14：00（みなとみらい）
読響 東京オペラシティ名曲シリーズ
19：00（東京オペラシティ）
名フィル 定期
18：45（愛知芸劇）⇨15p
OEK 定期 フィルハーモニー・シリーズ
19：00（石川音楽堂）
大阪フィル 定期
19：00（フェスティバル）
広響 定期
18：45（広島文化学園 HBG）
テレマン 定期
19：00（東京文化）

25日(土)
仙台フィル 定期
15：00（日立システムズホール仙台）⇨10p
日本フィル 夏休みコンサート
14：00（大宮ソニックシティ）
読響 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
14：00（みなとみらい）
名フィル 定期
16：00（愛知芸劇）⇨15p
京フィル はじめてのクラシック
11：00／14：30（京都コンサート小）

兵庫芸術文化センター管弦楽団

問合せ 0798-68-0203

オリヴィエ・シャルリエ with PAC
ヴィヴァルディ「四季」

名手オリヴィエ・シャルリエと若き PAC が紡ぐ、最高の四季

5月1日(金) 14時開演
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
A 2,000円／B1,000円（全席指定／税込）

【ヴァイオリン】オリヴィエ・シャルリエ

■ J.S. バッハ
ヴァイオリン協奏曲
第1番、第2番
2つのヴァイオリンのための協奏曲

■ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲集
「四季」



第79回定期演奏会 サー・ネヴィル・マリナー
奇跡のシンフォニー

巨匠マリナーが贈る、オール英国ゆかりのプログラム

5月15日(金),16日(土),17日(日) 各日15時開演
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
A 4,000円／B席以下売切（全席指定／税込）

【指揮】サー・ネヴィル・マリナー
■ハイドン：交響曲　第96番「奇跡」
■ティペット：2つの弦楽オーケストラのための協奏曲
■メンデルスゾーン：交響曲　第3番「スコットランド」



第80回定期演奏会 ユベール・スダーン
ウェーバー&シューマン ドイツ・ロマン派の創造

スダーンこだわりのマーラー版シューマン 2 番、コリンズの流麗なクラリネット

6月19日(金),20日(土),21日(日) 各日15時開演
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
A 4,000円／B席以下売切（全席指定／税込）

【指揮】ユベール・スダーン　【クラリネット】マイケル・コリンズ
■ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲
クラリネット協奏曲　第1番
■シューマン：交響曲　第2番（マーラー編曲版）




【お問合せ先・チケットご予約】芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

準会員 京都フィルハーモニー室内合奏団　ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
テレマン室内オーケストラ　奈良フィルハーモニー管弦楽団

京都フィルハーモニー室内合奏団

問合せ 075-212-8275

第198回定期公演
「言霊に音霊会ひし桜かな」
4月11日(土) 開演14:00

【指揮】齊藤一郎（京フィル音楽監督）
【ヴィオラ】松田美奈子（京フィル）
【語り】片山九郎右衛門　【コンサートマスター】釋伸司
【曲目】黛敏郎／ディヴェルティメント
アイスラー／室内交響曲
水野修孝／ヴィオラ協奏曲
高橋悠治／苦艾（にがよもぎ）[委嘱初演]




第199回定期公演
「ラヴェル讃～生誕140年～」
6月28日(日) 開演14:30

【指揮】佐藤俊太郎　【ピアノ】近藤嘉宏
【コンサートミストレス】神谷美千子
【曲目】オールラヴェルプログラム
クープランの墓
ピアノ協奏曲
亡き王女のためのパヴァーヌ
マ・メール・ロワ　バレエ全曲版




会場：京都コンサートホール　アンサンブルホールムラタ　料金(全席指定、税込、当日500円増)…S席4000円、A席3000円、B席2000円、ユース席(25歳以下)1000円

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

問合せ 06-6334-2824

第53回大阪国際フェスティバル2015
ロッシーニ作曲　オペラ「ランスへの旅」(新演出)（原語上演・日本語字幕付き）

4月18日(土) 15:00 開演　会場：フェスティバルホール





【指揮】アルベルト・ゼッダ　【演出】松本 重孝
【キャスト】老田 裕子（コリンナ）、ターチャ・ジブラッゼ（メリベーア侯爵夫人）、イサベル・ガウディ（フォルヴィル伯爵夫人）、石橋 栄実（コルテーゼ夫人）、中川 正崇（騎士ベルフィオーレ）、アントン・ロシツキー（リーベンスコフ伯爵）、クラウディオ・レヴァンティーノ（シドニー卿）、伊藤 貴之（ドン・プロフォンド）、三浦 克次（トロンボノク男爵）、木村 孝夫（ドン・アルヴァーロ）、西村 圭市（ドン・プルデンツィオ）ほか
【管弦楽】ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団　【合唱】「ランスへの旅」フェスティバル・シンガーズ
【料金】S 席 18,000 円　A 席 16,000 円　B 席 14,000 円　C 席 12,000 円　D 席 10,000 円
E 席 8,000 円　BOX 席 23,000 円　バルコニー BOX 席 36,000 円（2 席セット）　学生席 4,000 円

テレマン室内オーケストラ

問合せ 06-6345-1046

日本テレマン協会第224回定期演奏会
J.S. バッハ
ブランデンブルク協奏曲（全曲）

バロック・ヴァイオリン：ウッラ・ブンディース
チェンバロ：高田泰治　指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ（バロック楽器使用）

2015
4.13
（月）19:00 開演
（18:30 開場）
大阪市中央公会堂
中集会室
入場料 ¥5,000 全席自由

主催・お問合せ：日本テレマン協会 06-6345-1046（平日 10 時-18 時）yoyaku@cafe-telemann.com
後援：Bach-Archiv Leipzig ライプツィヒ・バッハ資料財団　大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

奈良フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 0743-57-2235

奈良フィル室内楽 サロンコンサート

場所：**やまと郡山城ホール・レセプションホール**
チケット：**2,000円（ドリンク付き）要予約**

～フルートの名曲を薫風にのせて～
2015年5月16日（土）14:00開演
☆フルート・ソナタ／プーランク
☆ミニヨンの主題によるグランドファンタジー／タファネル
☆美しきロスマリン／クライスラー
☆その他
出演　フルート　原 祐子　ピアノ　財津 早苗

～虹の彼方に～
2015年6月20日（土）14:00開演
☆プレリュードOp.28No.15「雨だれ」／ショパン
☆雨に唄えば／ナシオ・ハープ・ブラウン
☆その他
出演　ピアノ　山中 麻有里　フルート　濱井 訓子
パーカッション　小川 悟史

広島交響楽団

問合せ　082-532-3080

～被爆70年HIROSHIMA 2015～ "Music for Peace"

第348回定期演奏会
2015年4月17日(金)



指揮：秋山和慶
ベートーヴェン：序曲「レオノーレ」第3番 Op.72a
ベートーヴェン：交響曲第4番 変ロ長調 Op.60
プロコフィエフ：歌劇「戦争と平和」Op.91からの交響組曲（C. バーマー編曲）

第349回定期演奏会
2015年5月22日(金)



指揮：ラン・シュイ
ヴィオラ：リチャード・ヨンジェ・オニール
ベートーヴェン：交響曲第1番ハ長調 Op.21
ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」Op.16

第350回定期演奏会
2015年6月12日(金)



指揮：ユベール・スダーン
ピアノ：佐藤卓史
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 Op.73「皇帝」
シューマン：交響曲第2番ハ長調Op.61（マーラー版）

【会場】広島文化学園HBGホール　開演18:45（開場17:45）　【チケット料金】S:¥5,200　A:¥4,700　B:¥4,200　学:¥1500

http://hirokyo.or.jp/

九州交響楽団

問合せ　092-822-8855

第339回定期
3つの「ペレアスとメリザンド」I
20世紀の夜明け



4月24日(金) 19:00
【指揮】小泉和裕
フォーレ／組曲「ペレアスとメリザンド」作品80
マーラー／交響曲 第5番 嬰ハ短調

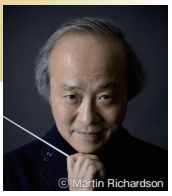
第340回定期
シベリウス生誕150年記念I





5月22日(金) 19:00
【指揮】ミハイル・レオンティエフ
【トロンボーン】ファブリス・ミリシェー
※指揮者は、当初の予定より変更になりました。ご了承ください。
チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」
トマジ／トロンボーン協奏曲
シベリウス／交響曲 第1番 ホ短調 作品39

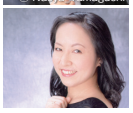
第341回定期
シベリウス生誕150年記念II
3つの「ペレアスとメリザンド」II



6月23日(火) 19:00
【指揮】尾高忠明
シベリウス／組曲「ペレアスとメリザンド」作品46
シベリウス／アンダンテ・フェスティーヴォ
エルガー／創作主題による変奏曲「エニグマ」作品36　他

第342回定期
オラトリオの世界Ⅷ
原爆投下70年「平和への祈り」





7月6日(月) 19:00
長崎の悲劇を描いた唯一のオラトリオ、九州初演！
【指揮】下野竜也　【アルト】池田香織　【合唱】九響合唱団
三善晃／夏の散乱、焉歌・波摘み
J.S. バッハ＝レーガー編／おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け BWV622　シュニトケ／オラトリオ「長崎」

【会場】アクロス福岡シンフォニーホール　【料金】S:5,200円　A:4,200円　B:3,100円　学生:1,100円

チケットお問い合わせ：九響チケットサービス　☎092-823-0101　http://www.kyukyo.or.jp

公益財団法人 九州交響楽団

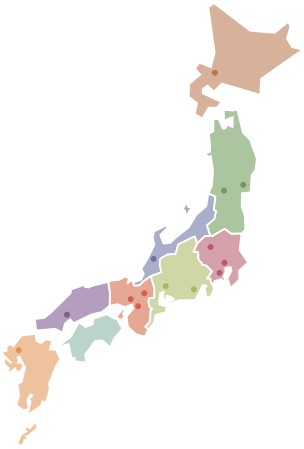
7月 July

26日(日)
- 山響 ユアタウンコンサート
  16：00（伝国の杜）⇨10p
- 新日本フィル サマーコンサート
  （調整中）
- 日本フィル 夏休みコンサート
  11：00／14：00（サントリー）
- 読響 読響アンサンブル・シリーズ
  14：30（よみうり大手町）

29日(水)
- 読響 サントリーホール名曲シリーズ
  19：00（サントリー）

30日(木)
- 日本フィル 夏休みコンサート
  14：00（習志野文化）
- OEK ファンタスティック・クラシカル
  19：00（石川音楽堂）

31日(金)
- 新日本フィル 新・クラシックへの扉
  14：00（すみだトリフォニー）
- 日本フィル 夏休みコンサート
  14：00（相模女子大グリーンホール）
- セントラル愛知 コンチェルトシリーズ
  18：45（芸文コンサート）





演奏用衣装 特別販売のお知らせ

キャンペーン期間 ： ～ 2015 年 6 月 30 日 (火)

日頃より、カインドウェアをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
この度、演奏者の皆様に定期演奏会やコンサート、発表会での衣装を通常の百貨店販売価格より、さらにお求め易い価格にてご提供いたします。お1人、お1人の体型に合わせたパターンオーダーにてお仕立ていたします。是非、この機会にご利用ください。

※お渡しは、承りより約3週間かかります。

燕尾服・タキシード特別企画

■ 燕尾服	税込￥108,000
■ タキシード（ショールカラー/ピークドラペル）	税込￥64,800
■ ウィングカラーシャツ	税込￥7,344
■ ボウタイ	税込￥2,160
■ カマーバンド	税込￥6,264
■ チーフ	税込￥1,404

その他、ブラックスーツ等演奏者に必要なアイテムは、特別価格にてご提供いたします。
なお、お買い上げ金額が税込 3,240円以下の場合は、特別価格の対象外となります。

※楽団員様10名以上お集まりいただきますと、出張販売いたします。
ご購入の際は、売場係員に楽団証又は学生証を提示ください。

エキスパートキャンペーン対象店舗や詳しい内容につきましては、ホームページまたは下記までご連絡をお願いします。

▶▶ カインドウェア 検索　▶▶ 0120-29-4140 TEL

http://www.kindware.co.jp/

INFORMATION
（年の記載のない月日はすべて2015年）

指揮者の情報

新日本フィル次期音楽監督に上岡敏之さん

新日本フィルハーモニー交響楽団は2016年9月より上岡敏之さんを次期音楽監督に迎えることを発表した。就任に先立ち、2015年4月より、アーティスティック・アドヴァイザーとして積極的に新日本フィルにかかわる。音楽監督としての任期は5年。

小泉和裕さん 名古屋フィルの音楽監督に就任

名古屋フィルハーモニー交響楽団は2016年4月より小泉和裕さんが音楽監督に就任することを発表した。任期は3年。名古屋フィルの「音楽監督」のタイトルは2003年3月まで務めた小林研一郎さん以来、13年振りとなる。

札幌交響楽団の指揮者体制

札幌交響楽団は2015年4月に首席指揮者としてマックス・ポンマーさんを迎えるにあたり、今後の指揮者体制を発表した。2015年3月をもって退任する現音楽監督の尾高忠明さんが「名誉音楽監督」に、2008年から首席客演指揮者を務めてきたラドミル・エリュシカさんが「名誉指揮者」にそれぞれ就任する。

表彰・受賞

斎藤秀雄メモリアル基金賞に上岡敏之さん

公益財団法人ソニー音楽芸術振興会は第13回斎藤秀雄メモリアル基金賞の指揮部門賞を指揮者の上岡敏之さんに決定した。チェロ部門賞には大友 肇さんが選ばれた。12月17日都内において贈賞式が執り行われた。

文化功労者に秋山和慶さんと湯浅譲二さん

平成26年度の文化功労者として音楽分野からは指揮者の秋山和慶さんと作曲家の湯浅譲二さんが選ばれた。

吉田秀和賞とサントリー学芸賞に通崎睦美さん

マリンバ奏者・通崎睦美さんの執筆による『木琴デイズ ～平岡養一～「天衣無縫の音楽人生」』（講談社）が、サントリー学芸賞社会・風俗部門に選ばれた。また同書により第24回吉田秀和賞も受賞した。

第25回 新日鉄住金音楽賞にチェロ奏者の岡本侑也さんと音楽作家のひのまどかさん

チェロ奏者の岡本侑也さんが第25回の新日鉄住金音楽賞・フレッシュアーティスト賞を受賞しました。岡本さんは東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学在学中。2004年ドイツ音楽協会主催青少年コンクールバイエルン州域部門、2011年の第80回日本音楽コンクールでそれぞれ1位を受賞している。

また特別賞が音楽作家のひのまどかさんに贈られた。ひのさんは東京芸大をヴァイオリンで卒業後、民族音楽を研究。その後音楽をテーマにした小説、ノンフィクションの分野で活躍。近著に「戦火のシンフォニー」（新潮社）がある。

N響「尾高賞」に藤倉 大さん

NHK交響楽団が主催する第63回尾高賞に藤倉 大さんの作曲による「Rare Gravity for orchestra」が選ばれた。この作品は2013年スイス・ロマンド管弦楽団の委嘱によるもので、藤倉さんは2009年の「secret forest」に続く2度目の受賞になる。

訃　報

札幌交響楽団のヴァイオリン奏者 石原ゆかりさん

札幌交響楽団のヴァイオリン奏者に石原ゆかりさんは12月8日、肝機能不全のために亡くなられた。享年53歳。

セントラル愛知響の打楽器奏者 石田まり子さん

セントラル愛知交響楽団の打楽器奏者の石田まり子さんは2月17日、亡くなられた。享年57歳。

音楽評論家 遠山一行さん

音楽評論家の遠山一行さんは12月10日、脳梗塞のため亡くなられた。享年92歳。東京大学で音楽美学を専攻後、毎日新聞で音楽評論を手がけ、パリ留学後は読売新聞でも音楽評論を担当、クラシック音楽評論の第一人者になる。1983年に民間人として初めて東京文化文化会館館長に就任。それ以降、東京芸術劇場館長、桐朋学園大学学長、「草津夏期国際音楽アカデミー＆フェスティヴァル」音楽監督などの要職を歴任。85年紫綬褒章、93年には勲三等旭日中綬章を受賞。98年には文化功労者に選ばれている。

写真家 木之下 晃さん

写真家の木之下晃さんは1月12日、虚血性心不全のため亡くなられた。享年78歳。中日新聞と博報堂を経て音楽専門のフリー写真家になる。カラヤン、バーンスタイン、小澤征爾、朝比奈隆らの舞台を主にモノクロフィルムで撮影。2005年日本写真協会賞・作家賞、2006年紺綬褒章、2008年新日鉄音楽賞・特別賞を受賞。

音楽評論家 横溝亮一さん

音楽評論家の横溝亮一さんは2月17日、敗血症のため亡くなられた。享年84歳。東京新聞の記者を経て音楽評論家として活躍。2005年にはフィンランド音楽の普及への長きにわたる貢献が評価され、フィンランド政府よりフィンランド獅子勲章騎士一級章が授与された。

［賛助会員］
●法人会員
株式会社ＮＴＴデータ
オリックスグループ
カルビー株式会社
キッコーマン株式会社
コクヨ株式会社
株式会社 資生堂
公益財団法人新日鉄住金文化財団
トヨタ自動車株式会社
株式会社日本旅行
一般財団法人ヤマハ音楽振興会
ライオン株式会社
公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション
（五十音順）
＊連盟の活動をご理解いただき支援してくださる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いしています。

〈正会員〉
［加盟33団体］
ＮＨＫ交響楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
九州交響楽団
京都市交響楽団
群馬交響楽団
札幌交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
セントラル愛知交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京ニューシティ管弦楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
名古屋フィルハーモニー交響楽団
日本センチュリー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
山形交響楽団
読売日本交響楽団

〈準会員〉
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
京都フィルハーモニー室内合奏団
静岡交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
テレマン室内オーケストラ
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
奈良フィルハーモニー管弦楽団
ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

日本オーケストラ連盟ニュース第89号　2015年3月1日発行
発行所●公益社団法人 日本オーケストラ連盟
編集・発行人　桑原 浩　〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F
Tel:03-5610-7275 http://www.orchestra.or.jp/
印刷●錦明印刷株式会社　制作●音楽編集者倶楽部「カノン」／有限会社オフィス・ユウ（佐藤壮太）